

官報

號外 昭和十三年二月二十六日

○第七十三回衆議院議事速記録第十八號

帝國議會

昭和十三年二月二十五日(金曜日)

午後一時五十三分開議

議事日程 第十七號

昭和十三年二月二十五日

午後一時開議

第一 國家總動員法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二 商法中改正法律案(政府提出)

貴族院送付) 第一讀會

第三 商法中改正法律施行法案(政府提出)

貴族院送付) 第一讀會

第四 有限會社法案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會

第五 日滿司法事務共助法案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會

第六 社會事業法案(政府提出)

第一讀會

第七 商店法案(政府提出)

第一讀會

第八 石油資源開發法案(政府提出)

第一讀會

第九 樺太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第十 昭和十二年法律第九十二號中改正法律案(輸出入品等ニ關スル臨時

措置ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十一 民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第十二 民事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第十三 外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第十四 簡易生命保險法中改正法律案(政府提出)

第十五 特許法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第十六 商標法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第十七 不正競爭防止法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第十八 辦理士法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(小山松壽君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

不動産融資及損失補償法中改正法律案

産業組合中央金庫法中改正法律案

漁業法中改正法律案

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案

産業組合自治監査法案

(以上二月二十五日提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

前田川改修ニ關スル建議案

提出者 山田 六郎君

大和川改修工事區域ニ國分村編入ニ關スル建議案

提出者 田中 万逸君

茶業技術員設置費國庫補助金交付ニ關スル建議案

提出者 倉本雄一郎君

宮本雄一郎君 倉元 要一君

服部 岩吉君 佐藤洋之助君

井上 知治君 山口忠五郎君

宮崎 一君 三善 信房君

鹽川 正藏君 深澤豐太郎君

佐保 畢雄君 森 幸太郎君

安倍川改修築堤工事延長並促進ニ關スル建議案

提出者 山川港修築ニ關スル建議案

提出者 井上 知治君

寺田 市正君 東郷 實君

岩元榮次郎君 永田 良吉君

(以上二月二十四日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

提出者

宮本雄一郎君 深澤豐太郎君

山口忠五郎君 鹽川 正藏君

倉元 要一君

大井川改修工事促進ニ關スル建議案

提出者

宮本雄一郎君 山口忠五郎君

深澤豐太郎君 鹽川 正藏君

倉元 要一君

牛淵川改修區域擴張並工事促進ニ關スル建議案

提出者

宮本雄一郎君 山口忠五郎君

深澤豐太郎君 鹽川 正藏君

倉元 要一君

酒精製造國營工場設置ニ關スル建議案

提出者

宮本雄一郎君 山口忠五郎君

深澤豐太郎君 鹽川 正藏君

倉元 要一君

凱旋將士ノ餞別返シ取止方通達ニ關スル建議案

提出者

山川港修築ニ關スル建議案

提出者

井上 知治君 東郷 實君

寺田 市正君 永田 良吉君

岩元榮次郎君

(以上二月二十四日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

宮崎縣外ノ浦港修築ニ關スル質問主意書
提出者 津崎 尙武君

(以上二月二十四日提出)

一昨二十四日近衛内閣總理大臣ヨリ左ノ通
發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

企畫院部長 植村甲午郎

同 横山 勇

企畫院書記官 内田源兵衛

第七十三回帝國議會政府委員被仰付

一昨二十四日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル
常任委員左ノ如シ

第四部選出豫算委員 清瀬 一郎君

○議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス、日程第一、國家總動員法案ノ第一讀會

ヲ開キ、前會ノ議事ヲ繼續致シマス——池
田秀雄君

第一 國家總動員法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

(池田秀雄君登壇)

○池田秀雄君 諸君、今回ノ支那事變ハ我
國未曾有ノ大事件デアリマシテ、識者ハ夙
ニ舉國一致ヲ唱へ、我ガ國民ハ總動員ヲ致
シマシテ、我ガ忠勇ナル皇軍ハ海ニ、陸ニ、
空ニ、非常ナル武勳ヲ立テ、居リマス、又
國民ハ銃後ノ後援ニ全力ヲ盡シテ居ルノデ
ゴザイマス、即チ物質的ニモ、精神的ニ
モ、今ヤ總動員ヲ致シテ居ルノデゴザイマ
ス、併ナガラ今日ノ情勢ハ非常ニ複雑微
妙、險惡ナル狀態ニアルノデゴザイマス、
即チ國際間ノ狀態カラ申シマスレバ、イツ

何時是レ以上ノ大難ガ我國ニ襲ヒ來ルカ分
ラナイ狀態ニアルノデアリマス、此故ニ私
共ハ國家總動員法案ガ一日モ早く提出セラ
レ、是ガ成法トナランコトヲ期待シテ居
ノデゴザイマス、併ナガラ今政府提出ノ法
案ヲ見マスレバ、奇々怪々、羊頭ヲ掲ゲテ
狗肉ヲ賣ルヤウナ法案デゴザイマス、何等
總動員法ノ實體ヲ示スコトナク、且ツ我ガ
欽定憲法ノ精神ヲ蹂躪スルコト甚シキモノ
ダト云フコトヲ發見致シマシテ(拍手)私共
ハ驚愕措ク所ヲ知ラナイノデゴザイマス、
此故ニ私ハ重要ナル四五ノ點ニ付キマシ
テ、政府當局ニ質問ヲ致シタイノデゴザイ
マス

第一ニ私ハ精神總動員ノコトニ付テ伺ッテ
見タイノデゴザイマス、是ハ近衛首相ガオ
出デニナツテ居ナイノデゴザイマスカラ、末
次國務大臣ニ御伺ヲ致シマス、今日及ビ將
來ノ近代戰ニ於キマシテハ、單ニ昔ノ兵力
ト兵力トノ戰デハナクシテ、國力ト國力ト
ノ戰デアアル、即チ全國力ト全國力トノ戰デ
アルノデゴザイマス、隨テ兵力バカリデナ
ク、精神ノ總動員竝ニ經濟ノ總動員、竝ニ
總動員ト言ッテ宜イカドウカ分リマセスケ
レドモ、外交ノ總動員、此四ツノモノヲ總
動員シテ、始メテ今日ノ戰爭ハ勝敗ガ決セ
ラレルノデゴザイマス、併ナガラ今回ノ提
案ニハ、外交ト武力トノコトハ範圍外ニナツテ
居リマスカラ、私ハ外交ノ總動員竝ニ武力
ノ總動員ニ付キマシテハ、今茲ニ質問ヲ致
シマセヌ、最初ニ精神ノ總動員カラ申上ゲ

マスレバ、今日支那事變ニ於ケル皇軍ハ、
非常ナル武勳ヲ八紘ニ輝カシテ居リマシ
テ、南ニ、北ニ、皇威ヲ輝カシテ居リマス
コトハ、吾々國民ノ齊シク感謝シテ措カナ
イ所デゴザイマス、併ナガラ一方思想戰ニ於
キマスレバ、我國ハ果シテ如何ナル體タラ
クデゴザイマス、世界ノ何處ニ我國ガ思
想戰ニ於テ勝利ヲ得ツ、アル處ガゴザイマ
セウカ、此點吾々國民ノ非常ニ遺憾トシテ居
ル所デゴザイマス、此思想戰ニ付キマシテハ、私
共ノ見ル所ヲ以テシマスレバ、本當ニ政府モ、
國民モ燃エ立ツダケノ熱心ヲ振ヒ起スト云
フコトガアッテ、初メテ思想戰ガ出來ルト思フ
ノデアリマス、然ルニ今政府ハ國民精神總
動員運動ヲヤツテ居ラレマス、是ハ結構ナ
コトトシテ私共ハ感謝致シテ居リマスケレド
モ、私共ハ此國民精神總動員運動ヲ見マシ
テ、顧ミマスルニ日露戰爭前ノ近衛廣齋公
ガ會長トシテ對露同志會ヲ組織セラレテ、
全國ニ風雲ヲ捲起シタル、アノ熱意ト、威
力ト、感動ト云フコトヲ、今回ノ國民精神總
動員運動ニ發見スルコトガ出來ルデゴザイ
マセウカ、私ハ遺憾ナガラ其點ヲ甚ダ心細
ク感ズルノデゴザイマス、然ラバ其原因ハ
何處ニアルダラウカト考ヘテ見マス、今
回ノ國民精神總動員運動ナルモノハ、形式
的ナル官製デアアルノデアリマスガ、對露同
志會ハ本當ニ近衛公ヲ首メトシテ、憂國ノ
至誠抑ヘント欲シテ抑ヘルコト能ハズ、燃
ユルガ如キ熱情ヲ以テ、政府ノ干渉壓迫ニ
抗シツ、敢然トシテ決行セラレタ、其點ニ

此原因ガアルト信ズルノデゴザイマス(拍
手)尙又世界大戰ノ際ヲ顧ミテ見マスレバ、
戰前ニ於テ新聞、言論ノ統制ノ最モ徹底シ
テ居ッタ國ハ、言フ迄モナク露西亞デゴザイ
マス、其次ハ奧地利デアリ、其次ハ獨逸デ
アッタノデゴザイマス、一旦戰火ガ開カレ
ヤ、其統制ハ愈、此三國ニ於テハ徹底ヲ致
シマシタガ、一旦戰局不利ニ陥ルヤ、何レ
ノ國ガ最モ先ニ土崩瓦解シタカト申シマス
レバ、露西亞デアリマス、其次ハ奧地利デ
アリ、其次ハ獨逸デアッタノデゴザイマス、
是ハ一體何事ヲ物語ルデアリマセウカ、之
ニ反シマシテ獨逸ノ向フテ張ツテ居リマシ
タ英米佛等ハ、最初ハ戰局ハ甚ダ不利デゴ
ザイマシタケレドモ、比較的言論ノ自由ガ
保タレテ居ッテ、一敗ヲ經ル毎ニ士氣益々振
テ來テ、最後ニ於キマシテハ、遂ニ頹瀾ヲ
既倒ニ廻シテ、最後ノ勝利ヲ得マシタト云
フコトハ、是亦一體何ヲ物語ルデゴザイマ
セウ、斯ノ如ク見來リマスレバ、官製ノ輿
論ノ頼ムニ足ラズ阿附雷同ノ徒ノ頼ムニ足
ラザルコトハ、明ニ見エテ居ルデアリマ
セヌカ(拍手)凡ソ一國ノ士氣ト云フモノハ、
本當ニ自發的ノ奮起ニ依ッテ、初メテ喚起セ
ラレルノデゴザイマス、已ムニ已マレヌ大和
魂、此氣魄アッテ初メテ國家ノ大難ヲ擔當ス
ルニ足ルト思フノデゴザイマス(拍手)然ル
ニ政府ニ於キマシテハ、今回此總動員法案
ニ於キマシテ、所謂言論ノ統制ヲ徹底的ニ
ナサラウト致シマシタ、併ナガラ輿論ノ囂々
タルニ鑑ミテ、其重要ナル部分、即チ新

開紙ノ發行停止、言論、集會ト云フコトニ付テハ、削除シテ提出シテ居ラレマスカラ、此點ニ付キマシテハ深く追究ヲ致シマセス、唯併ナガラ私ハ内務大臣ニ伺フテ見タイノデゴザイマスガ、斯ノ如キ所謂壓迫ノ規定ヲ設ケラレントシタル其心構ヘ、今尙ホ持ッテ居ラレマスルヤ否ヤ、私共ハ現代ノ情勢ヲ見テミマシテモ、餘リニ新聞其他ノ統制ガ徹底シ過ギテ居ルデハナカラウカト考ヘテ居リマス、今日ノ新聞ト日露戰爭時分ノ新聞ト比較シテ見マシテ、何レガ生彩ガアリマスルカ、何レガ士氣ヲ鼓舞シツ、アリマスルカ、是ハ今日ノ新聞記者ノ罪デハアリマス、後ニ控ヘテ居ル缺ノ爲ニ、此生彩アル記事ガ出來ズニ居ルノデハナカラウカト思フノデゴザイマス、又今回ノ總動員法ニ付キマシテモ、斯ノ如キ大問題ニ付キマシテ、私共ハ言論界ニ於テ大シテ批判ラシイ批判ヲ發見致シマセス、ジヤーナリストノ言フ所ヲ聽ケバ、吾々ガ此點ニ付テ本當ノ批判ヲシヨウニモ仕樣ガナイト言ッテ居ル、斯ノ如ク見來リマスレバ、未ダ總動員法案ヲ出サザル中カラ、言論ノ統制ハ效キ過ギテ、士氣ノ振興ヲ沮喪シテ居ルデハナカラウカト思フノデゴザイマス、(拍手)此點ニ付キマシテ私ハ末次國務大臣ノ思想動員ニ對スル心構ヘ、指導精神ヲ御同致シタイノデゴザイマス

第二ニハ經濟總動員ノ點デゴザイマスガ、此經濟總動員ノ點ガ、今回ノ總動員法ノ最も重要ナル部分ヲ成シテ居ルノデゴザイマ

ス、私ハ本法案ヲ拜見致シマシテ、此法案ハ國家總動員法ニアラズシテ、國家總動員法縮小法ニアラズヤト云フ疑ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、現代ノ戰爭ガ大兵力戰デアリ、機械化戰デアリ、化學戰デアリマスル結果、莫大ナル兵器彈藥ヲ要シ、莫大ナル物資ヲ要シ、莫大ナル戰費ヲ要スルコトハ言フ迄モアリマセス、顧ミテ世界大戰ノ際ヲ見マスレバ、列國ノ使ツク所ノ金ガ三千三百二十五億弗ト推算ヲサレテ居リマス、又主要ナル國ノ總動員數ヲ見マスレバ、獨逸ガ千二百五十萬人、奧地利ガ九百萬人、英吉利ガ九百五十萬人、佛蘭西ガ八百五十萬人、亞米利加ガ三百八十萬人ノ總動員ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、是ハ兵員ノ動員數デゴザイマス、斯ノ如キ情勢ニ於キマシテハ、ドウシテモ豫メ總動員計畫ヲ爲シテ置カナケレバナラスコトハ言フ迄モアリマセス、況ヤ近代ノ戰爭ハ速戰即決ヲ期シテ居リマススケレドモ、其結果ニ於キマシテハ、長期戰爭ニ移ル傾向ガアリマスルコトハ、世界大戰ノ例ヲ見マシテモ、今回ノ支那事變ノ例ヲ見マシテモ明カナル事實デアリマス、此故ニ私共ハ本當ナル總動員計畫、周到的確ナル、遠大ナル計畫ヲ政府ガ樹立シナケレバナラス、隨テサウ云フヤウナ法案ガ出ナケレバナラスト云フコトヲ期待シテ居タノデゴザイマス、然ルニ本法案ヲ見マスレバ、何處ニサウ云フヤウナ周到ナル、遠大ナル計畫ノ片鱗ダモ窺ヒ知ルモノガアリマセウカ、規定シテアルモノハ憲

法第二章ノ臣民ノ權利義務ヲ停止スルト云フダケノ規定ガ、其主ナルモノデゴザイマス、私共カラ申シマスレバ、ドウシテモ積極的ナル案ガ、此中ニ發見セラル、モノデナケレバ、本當ナル總動員法トハ思ハレナイノデゴザイマス、(拍手)亞米利加ノ總動員計畫ノ當局者ハ、總動員計畫ノ指標ト致シマシテ、總動員計畫ハ具體的ニ的確デ且ツ現實的ナルヲ要シ、而シテ輿論ノ支持ヲ受クルコトノ極メテ肝要ナルコトヲ明ニ致シテ居リマス、是ハ當然ナコトデゴザイマス、具體的デナケレバ國民ハ嚮フ所ヲ知ラナイ、現實的デナケレバ吾々ハ手ヲ著ケウガナイ、隨テ輿論ガ之ヲ支持シヨウモナイ、國民モ協力ノ仕樣ガナイノデゴザイマス、然ルニ本案ヲ見マスレバ、何處ニ吾々ガ總動員ノ實體ヲ擱ムコトガ出來マスカ、唯戰時ノ際ニ於テ憲法ニ保障サレタル重大ナル權利ヲ停止スルト云フコトデアル、政府ハ斯ノ如キ法案ヲ出シテ、國民ハ默ッテ附イテ來イト言ッテ居ラレル、西モ東モ分ラナイノニ、國民ハ默ッテ附イテ來イト言ッテ居ラレル、我敵ハ本能寺ニアリト言ッテ、恰モ鞭ヲ振上ゲテ居ラル、狀態デアル(拍手)斯ノ如クニシテ吾々ガドウシテ之ヲ支持シヨウガアリマセウカ、吾々國民ガドウシテ協力ラスルコトガ出來マセウカ、今日ノ戰爭、或ハ將來ノ戰爭ニ對シマシテハ、生産力ヲ擴充致シマシテ、サウシテ一般ノ軍需、民需ニ備ヘ、金融ノ途ヲ整備致シマシテ、戰費ノ支辨、或ハ公債ノ發行ニ便ナラシメ、貿易

ヲ振興シテ、國際收支ノ「バランス」ヲ整ヘテ行クコトガ、ドウシテモ將來ノ擴大戰長期戰ニハ最も必要ナルコトデゴザイマス、(拍手)併ナガラ斯ノ如キ法案ヲ提出致シマシテ、國民——適切ニ申シマスレバ、當業者ハ果シテ生産力ノ擴充ヲスルニ熱ガ出マセウカ、貿易ノ振興ニ努力ガ出來マセウカ、金融ノ整備ニ力ガ入ラレマセウカ、私ハ政府ハ眞ニ國民ニ嚮フ所ヲ示シテ、サウシテ其愛國心ヲ鼓舞シ、國民ガ勇ミ立ッテ之ニ協力スル目標ヲ與ヘナケレバナラスト思フ(拍手)然ルニ本案ヲ見マシテ、何處ニ吾々ガ計畫ヲ發見スルコトガ出來マスルカ、アルモノハ憲法上ニ保障セラレテ居ル所ノ權利ノ停止ダケデアリマス、我ガ國民ハ一旦緩急ノ際ニ當リマシテハ、身命ヲ賭シテモ國家ノ爲ニ盡スノデゴザイマス、況ヤ財產ヲヤ、唯本當ニ政府ガ國民ニ嚮フ所ヲ示シ、計畫ヲ之ニ織込シテ、サウシテ國民ガ協力シ得ルヤウナル法案ヲ出サレズンテ、吾々ガ何トシテ之ヲ支持シ得マセウカ、何トシテ之ニ協力シ得マセウカ、此點ヨリ見マシテ、私ハ本案ハ國家總動員法案ニアラズシテ、國家總動員法縮小法案ナリト考ヘル者デアリマス、(拍手)故ニ私ハ此國家總動員ニ付キマシテハ其必要ヲ認め、之ヲ歡迎致シマスルケレドモ、本法案ノ如キハ政府ハ速ニ之ヲ撤回シテ、本當ナル國家總動員法案ヲ出サレルノガ、國家ニ忠ナル所以デアルト云フヤウニ信ズル者デアリマスルガ、杉山國務大

臣ハ如何ナル考ヲ持ツテ居ラレマスルカ、昨日ノ御答辯ヲ拜見致シマスレバ、豫メ國民ニ示シテ置カナケレバナラス、ソレデ法律ハ國際間ノ機微ノ間ニ於テ、動員計畫ガ暴露スル虞ガアルカラ、勅令ニ委任シテ貰ヒタイト云フヤウナコトヲ言フテ居ラレマスルガ、法律モ官報デ公布ヲ致シマス、何故ニ法律デアレバ秘密ガ保タレズ、勅令デアレバ秘密ガ保タレト云フコトヲ考ヘラレマセウカ(拍手)私ハ是分リマセヌ、私共ハ一國ノ大事ニ關スルコトゴザイマスルカラ、敢テ軍機ノ秘密ヲ示シテ下サイト言フノデアリマセヌ、唯勅令ニ掲ゲルヤウナコトナラバ、法律ニ掲ゲベキデハナイカト云フコトヲ言フニ過ギナイノデアリマス(拍手)又私共色々ナコトヲ綜合致シマシテ、政府ガ秘シ隱シニ致シテ居ラレルコトガ、詰リ國民ノ耳目ヲ掩ウテ居ラレルコトガ、海外ニ於テハ常ニ明カデアル事實ヲ毎日毎日拜見ヲ致シマス、例ヘバ我國ノ軍需工業ニ付テノ調査ノ如キ、吾々ノ知ッテ居ルモノヨリモ、露西亞ノ調査ガ如何程正確デアルカ分リマセヌ、私ハ譯本デハアリマスルケレドモ、之ヲ見マシタガ、吾々ノ想像以上ニ能ク之ヲ熟知致シテ居ル、斯ウ云フ點ヲ考ヘテ見マスレバ、私共ハ敵國ニ幾ラカ機密ガ想像サレ得ル點ノ弊害ヨリモ、國民ニ本當ナ勇氣ヲ振起サシメテ、サウシテ之ニ協力シ、喜ンデ國家ノ爲ニ盡スト云フ精神ヲ鼓舞セラル、コトガ、尙更大事ナコト

トデハナカラウカト思フノデアリマス(拍手)此點ニ付キマシテ私ハ杉山國務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス

第三ニ伺ヒタイノハ、政府ハ果シテ我國獨特ノ憲法ト云フコトヲ尊重シテ居ラレマスルヤ否ヤト云フコトヲ、御同致シタイノデゴザイマス、過日ノ一議員ノ質問ニ答ヘマシタル近衛首相ハ、我國ノ獨特ノ憲法ヲ尊重スルト云フコトヲ言ッテ居ラレマス、是ハ其精神デゴザイマセウ、併ナガラ私ハ此法案ヲ拜見致シマシテ、本當ニ我國獨特ノ憲法ヲ尊重シテ居ラレマスルヤ否ヤ、之ヲ私ハ政府ニ伺ッテ見タイノデゴザイマス、我國ノ獨特ノ憲法ト申シマスレバ、既ニ國論ガ一定シテ居リマスル通りニ、歐米ノ主權在民主義ノ契約觀憲法トハ反對ニ、我國ノ憲法ハ神聖尊嚴ナル我が國體ニ基イタル欽定憲法デアルト云フコトガ、是ガ我國獨特ノ憲法デゴザイマス、隨テ大權ガ又尊重サレナケレバナラス、斷然尊重サレナケレバナラスト云フ點ガ、我國獨特ノ憲法デアラウト思フノデアリマス、然ルニ我國ノ憲法ハ、明治以來歐米崇拜ノ餘弊ヲ受ケマシテ、我國ノ憲法ヲ歐米憲法ノ振假名附デ讀マレタ時代ガ久シク續キマシタ、隨テ主權在民主義ノ憲法ノ通りニ、大權ヲ立法權ヨリモ動モスレバ輕ク視ルヤウナ傾向ガアッタノデゴザイマス、尙ホ我國ノ憲法ガ大權ト立法權トヲ對立セシメテ、此間相侵スベカラザル立前ニ立ッテ居ルニモ拘ラス、政府ハ動モスレバ之ヲ混淆スルヤウナ提案ヲ致サレタ

ノデゴザイマス、又我國ノ憲法ガ 陛下カラ賜ッタル憲法デアッテ、立法權ハ大權ニ依ッテ賜ッタル立法權ナルガ故ニ、此權益ヲ堅ク守ッテ、立法權ハ濫リニ之ヲ拋棄セズ、濫リニ委任スベカラズト云フコトガ、我ガ帝國憲法ノ本義デナケレバナラスト思ヒマス(拍手)併ナガラ我國從來ノ傾向ハ、動モスレバ此弊害ニ陥ッテ居リマス、大權ヲ立法權ニ於テ之ヲ規定セントシ、或ハ委任勅令ヲ頻々トシテ出シタト云フコトハ、是ハ歐米流ノ直譯解釋ニ外ナラナカッタノデゴザイマス、政府ハ我國獨特ノ憲法ヲ尊重スルト言ッテ居ラレマスルケレドモ、口先ダケデハイケマセヌ、ドウシテモ實行ノ上ニ於テ之ヲ現ハサナケレバナラスト思フノデゴザイマス、今ヤ我國ハ國體明微ノ聲ガ朝野ニ滿チ、日本精神ノ昂揚セル此際ニ於テ、從來ノ惡弊ヲ一掃シナケレバナラスト時期デアルト確信ヲ致シマス(拍手)故ニ私ハ此點ニ付キマシテハ、政府ノ今回ノ提案ヲ甚ダ遺憾ト致シテ居リマス、御承知ノ通り今回ノ提案ノ主ナル部分ハ、憲法第二章ノ臣民ノ權利義務ニ關係スルモノデゴザイマス、詳シク申シマスレバ、憲法第二十一條、第二十七條、第二十九條ノ臣民ノ納稅ノ義務、所有權ノ自由、言論集會等ノ自由ノ點ニ對スル規定デゴザイマス、此點ヲ戰時ノ際ニ於キマシテ制限シヨウト云フノガ、此法案ノ趣旨デアルト見受ケマス、然ラバ斯ウ云フコトデアリマスレバ、憲法ノ第三十一條ニ明白ナル明文ガアルデハゴザイマヒヌカ、

此點ハ昨日齋藤、牧野兩君カラ詳シク申サレマシタカラ、私ハ之ヲ詳論致シマセヌ、併ナガラ昨日ノ御答辯ニ付テハ、ドウシテモ納得行カナイノデアリマス、是ニ於テカ私ハ此點ヲ質問致シテ見タイノデゴザイマス、政府ハ果シテ我國ノ獨特ノ憲法ヲ尊重セラレヤ否ヤ、又我國獨特ノ憲法ト申スナラバ、其特色トモ云フベキモノハ憲法第三十一條ノ規定デゴザイマス、憲法第三十一條ノ規定ノ如キハ、御承知ノ通り世界ノ何レノ國ニモアリマセヌ、我國ダケニ獨リ存在スル法文デゴザイマス(拍手)然ラバ此憲法ノ條章ハ我が國體ノ本源カラ出デタル所ノ條章デアリマスカラ、之ヲ尊重シテ侵スコトナシト云フコトガ、欽定憲法ノ精神デナケレバナラスト思フ(拍手)從來日清戰爭ニ於キマシテモ、日露戰爭ニ於キマシテニ、此憲法ノ發動ガゴザイマセヌ、併ナガラ是ハ必要ハナカッタカモ分リマセヌケレドモ、其當時ノ歐米流ノ憲法解釋者ガ、此憲法ノ條章ガ何ノ爲ニ存在スルカ分ラヌヤウナ解釋ヲシタ者モ隨分アリマスノデ、此憲法ヲ施行スルト云フコトヲ躊躇シタ爲デモアラウト私ハ考ヘマス、憲法第三十一條ノ「本章ニ掲ケタル條規ハ戰時又ハ國家事變ノ場合ニ於テ天皇大權ノ施行ヲ妨クルコトナシ」ト云フ此法條ガ、列國ニ見ナイ、我國欽定憲法獨特ノ法條デゴザイマスカラ、政府ハ此法文ヲドウシテモ能ク研究シ、之ヲ尊重シナケレバナラスト思フノデアリマス、然ルニ此點ニ付キマシテ、昨日齋藤、

牧野兩君カラ詳細ナル質問ガアリマシタガ、鹽野國務大臣ハ齋藤氏ノ質問ニ答ヘマシテ、憲法第三十一條ノ非常大權ハ最後の場合デアッテ、成ベク此法文ニ據リタクナイト云フヤウナ答辯ヲ致シテ居ラレマス、是ガ私共ニハ分リマセヌ、私共ハ此鹽野國務大臣ノ答辯ヲ見マスレバ、恰モ英國ノ「キング」ヲ以テ統スレドモ治セズ、垂拱シテ政ヲ聽クベキモノト云フヤウナ、同一ナル地位ニ天皇陛下ヲ解釋シテ居ラル、ノデハナカラウカト思フノデゴザイマス、私共ハ此第三十一條コソハ、本當ニ今日政府ノ提案サレルヤウナコトヲ、英明ナル 明治天皇陛下ガ、既ニ其時カラ豫見セラレマシテ、此法文ヲ憲法ニ載セラレテ居ルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス（拍手）然ルニ政府ニ於カレテハ、此法文ヲ高閣ニ束ネ去ラウトシテ居ラレマス、法律ニ依ッテ此大權ノ發動ヲ制限シヨウト致シテ居ラレマス（拍手）此法律ガ出マスレバ、大權ノ施行ハドウシテ爲シ得ル機會ガアリマスルカ、是ハ昨日牧野君ノ言ハレタ通りニ、大權ヲ干犯スルモノニアラズヤト考ヘルノデアリマス（拍手）又最後ノ場合ト申サレマスガ、私共ハ此憲法ノ條章ニ付キマシテハ、必要ガアレバ法規命令ノ制定ヲ爲サルベキデハナカラウカト思フ、恰モ 天皇ノ文武官任命ニ官制アリ、統帥權ニ軍令アルガ如ク、私ハ法規命令ヲ之ニ依ッテ制定サレテ置イテ、國民ニ嚮フ所ヲ示シ、サウシテ戰時ノ場合ニハ斯ウ云フ大權ガ發動シ得ルト云フコトヲ明

ニシテ置カレルニ、何ノ不都合ガアリマセウカ、不都合デハアリマセヌ、是ガ政府ノ當然爲スベキコトデハナカラウカト考ヘテ居ルノデゴザイマス（拍手）然ルニ政府ハ事茲ニ出デズシテ、此第三十一條ノ法規ヲ高閣ニ束ネ、而モ法律ヲ以テ其發動ヲ阻止スルヤウナル法案ヲ出シテ居ラレマスルコトニ付テ私共ハ牧野君、齋藤氏ト同ジク、大權ノ干犯ナリト云フコトニ、何ノ疑ガアリマセウト思ッテ居ルノデゴザイマス（拍手）私ハ此點ハ既ニ兩君ニ於テ述べラレテ居リマスルカラ深く申上ゲマセヌ、併ナガラ昨日ノ御答辯デハドウシテモ満足ガ出來マセヌ、尙ホ一層吾々ガ理解スルヤウナ御答辯ヲ願ヒマス

第四ニハ手續ノ問題デゴザイマスルガ、私ハ本法案ハ議會提出前ニ樞密院諮詢ノ奏請ヲ爲サレタルヤ否ヤト云フコトヲ伺ッテ見タイノデゴザイマス、或ハ政府ハ本案ハ普通ノ法律案デアリ、サウシテ御定書ノ範圍外ニアルカラ、樞密院ニ諮詢ノ奏請ヲスル必要ナシト云フ見解ヲ執ッテ居ラル、カモ分リマセヌ、併ナガラ樞密院ノ官制ノ第一條ヲ見マスレバ「樞密院ハ天皇親臨シテ重要ノ國務ヲ諮詢スル所トス」ト云フ規定ガアリマス、尙又其第六條ニハ樞密院ニ諮詢セラレル場合ガ規定シテゴザイマスルガ、其第二項ニハ「憲法ノ條項又ハ憲法ニ附屬スル法律勅令ニ關スル草案及疑義」ト云フコトガ規定サレテアリ、其第六項ニハ「前諸項ニ掲タルモノノ外臨時ニ諮詢セラ

レタル事項」ト云フヤウニ、列舉サレテアルト思フノデゴザイマス、政府ハ本案ヲ以テ普通ノ法律案ナリトシ、サウシテ樞密院ニ諮詢ヲ奏請スルノ必要ナシトシテ居ラル、カモ分リマセヌケレドモ、吾々ノ見ル所ヲ以テスレバ、サウ簡單ニハ見ラレナイノデゴザイマス（拍手）第一ニ本案ハ我國ノ憲法一部ノ停止トモ目サレテ居ルモノデアアル、然ラバ「重要ノ國務ヲ諮詢スル所トス」ト云フ所ノ、第一條ノ法文ニ合致スルデハアリマセヌカ（拍手）又憲法附屬ノ法律ト認メテ居ラレナイカモ分リマセヌ、併ナガラ樞密院官制第六條第二項ノ「憲法ノ條項」ト云フコトニハ當嵌ラナイデセウ、假令或ハ政府ハ此「條項」ト云フノハ憲法ノ改正案ナリ、或ル條項ノ改正案ナリト解釋シテ居ラレマスルカモ分リマセヌ、併ナガラソレナラバ第六項ノ「臨時ニ諮詢セラレタル事項」ト云フコトニハ該當シナイデゴザイマセウ、我國憲法發布以來、斯ノ如キ重大ナル憲法ニ關スル案件ガ議會ニ出サレタコトガゴザイマセウカ、私ハ斯ノ如キ重大ナル案件ハ未ダ會テ一度モ出デ居ナイト思フ、然ラバ臨時ニ諮詢スル事項ト云フコトガアリマスルガ、斯ノ如キコトヲ樞密院ニ諮詢セラレナケレバ、第六項ノ臨時ニ諮詢スル事項ト云フノハ、一體何ヲ指スモノデゴザイマセウカ、私ハ此點ニ付キマシテ政府ガ樞密院ニ諮詢ヲ奏請セラレタルヤ否ヤ、若シ諮詢ヲ奏請サレナカッタラバ、何故ニ奏請サレナカッタカノ理由ヲ承リタイノデゴザイマス、

私共ハ世俗ノ所謂憲法ノ番人タル樞密院ニ、斯ノ如キ重大ナル案件ハ諮詢セラレルコトガ當然デアルト思フ（拍手）又諮詢ニ先ダッテ樞密院ノ意思如何ト云フコトヲ知ルコトガ必要ダト思フノデアリマス（拍手）第五ニ私ガ伺ヒタイノハ、昨日モ議論サレタル所ノ委任立法ノ件デゴザイマス、昨日鹽野法相ノ答辯ニ依リマスレバ、委任立法ト云フコトヲ、憲法學者ノ所謂狹義ノ委任立法ト、又委任命令ノ規定ト云フコトヲ一括サレマシテ、悉ク委任立法トシテ先例ガ澤山アルト答ヘテ居ラレマス、私モ普通ノ委任命令ノ規定ナラバ、山程アルト云フコトハ承知ヲ致シテ居リマス、併ナガラ今回ノ提案ト云フモノハ、普通ノ委任命令ノ範圍ヲ超脱シテ、委任立法ノ範圍ニ入ッテ居ルモノト私ハ確信ヲ致シテ居リマス、普通ノ委任命令ノ規定ナラバ、大綱ハ法律決定メテ、細目ハ勅令ニ讓ルト云フノガ、是ガ普通ノ委任命令ノ規定デゴザイマスガ、大綱モ細目モ舉ゲテ勅令ニ讓ルナラバ、是ハ委任立法ト言ハナケレバナラスト思フノデアリマス（拍手）委任立法ノ例ニナリマスレバ、私共ハ餘リ其先例ヲ知リマセヌ、唯世俗ノ所謂六三問題、臺灣ノ律令問題ト云フコトノアツタコト、此點ガ私ハ其先例デハナカラウカト思ヒマス、其際ニ於キマシテ委任立法ノ違憲デアルコトハ、憲法學者ノ齊シク痛論シテ居ル所デアアル、美濃部博士ノ如キハ歐米流ノ憲法學說ヲ採リ、我ガ日本ノ憲法ヲ歐米流ニ解釋スルト云フ非難ヲ受

クテ學考デゴザイマスケレドモ、美濃部博士デスラ委任立法ノ違憲ナルコトヲ認メテ居リマス(拍手)唯六三問題ノ際ニ於キマシテハ、臺灣ノ律令問題ハ、帝國憲法ハ新附ノ領土ニ於テ行ハレナイト云フ前提ノ下ニ於テノミ、初メテ是方違憲ニ非ラズト云フコトヲ是認シ得ルコト云フコトヲ言フテ居ラレマス、穂積八束博士ノ如キハ、徹底的違憲ナリトシテ之ヲ攻撃致シテ居ラレマス、私共ハ昨日モ齋藤氏ガ指摘セラレタ通りニ、穂積博士ガ死ニ至ルマデ委任命令スラ違憲ナリトシテ居ラレマシタケレドモ、委任命令ノ程度ナラバ、先例モ、又便宜カラ申シマシテモ、之ヲ認ムルヨリ私共ハ仕方ガナイデハナカラウカト考ヘテ居リマス、併ナガラ事一旦委任立法ニナリマスレバ、違憲ノ罪トシテ之ヲ糾弾セザルヲ得マセヌ(拍手)六三問題ノ場合ニ於キマシテハ、事ハ新附ノ領土デアリ、又憲法ノ成文ニ何處ニモ發見セラレナイ、然ルニ今回ノ提案ハ憲法ノ明文ニ歷々トシテ載ッテ居ルコトニ關係ラシテ居ル、又憲法ノ施行セラル、コトニ付テ一點疑ナイ問題デアリマス、然ルニ政府ハ之ヲ委任立法ハ先例ガ多々アルカラ差支ナイト言ッテ居ラレマスルガ、私ハ是ハドウシテモ理解ガ出来マセヌ、穂積博士ノ如キハ、律令問題ノ違憲ナルヲ痛論シテ、臺灣ニ怪物アリ、法律ニアラズ、命令ニアラズ、自ラ律令ト稱シテ白晝橫行ス、明治ノ聖代一人ノ源三位ナキヤ、嗚呼一人ノ源三位ナキヤト云フ、悲憤ノ筆ヲ揮ッテ居ラレ

ルノデアリマス、私共ハ昭和ノ聖代ニ於テ、大權事項ヲ内容トシテ法律案トナリ、其法律案ガ委任立法ノ内容ヲ含ンダ怪物ガ現レタト思フノデゴザイマス(拍手)斯ノ如キ怪物ニハ穂積博士ノ憤慨セラレタル通りニ、一人ノ源三位アランヤデハアリマセヌ、吾々四百六十六人ノ議員ハ、悉ク立上ッテ源三位トナルベキデハナイカト思フ(拍手)單ニ吾々衆議院議員バカリデハアリマセヌ、貴衆兩院議員悉ク立上ッテ源三位トナルベキデハナイカト思ッテ居ル、單ニ貴衆兩院議員バカリデハアリマセヌ、國民ノ中ニモ吾々ト志ヲ同ジウシ、憂ヲ同ジウシテ居ル者少クアルマイト思ッテ居ルデアリマス、私ハ斯ノ如キ違憲ナル法案ハ、速ニ政府ハ撤回セラレテ、サウシテ、本當ナル總動員法ヲ提出サルベキモノデアルト考ヘマス、即チ吾々ガ協賛シ得ル立法事項ヲ内容トシ、サウシテ目標ヲ定メ、其計畫ヲ織込ンダ法律案ヲ提案スベキモノト考ヘルノデゴザイマス(拍手)此故ニ私ハ政府ハ本法案ヲ撤回シテ、之ヲ再檢討シテ提案サル、意思ハアリマセヌカト云フコトヲ御尋スルノデゴザイマス、私ハ支那ノ歴史ヲ見マスレバ、往々ニシテ毒ヲ賜フテ死スト云フ文句ヲ見、又毒ヲ賜フト稱シテ之ヲ殺スト云フ文句ヲ發見致シマス、私ハ是ガ支那ノ女々シキ陰險ナル國民性ガ、今日ノ衰亡ヲ來シタ大ナル原因ダト考ヘマス、然ルニ世間或ハ本案ヲ目シテ、國家總動員ナル美名ヲ「オブラート」トシテ、立憲政治ト帝國議會

ヲ毒殺セントスルモノデアルト云フコトヲ言ッテ居ル者ガアリマス、私ハ政府ニサル惡心ガアリトハ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ去ル十七日ニ於テ民政黨ノ本部、政友會ノ本部ガ占據サレ、議會ト政黨ヲ撲滅スベシト云フ暴行ガ行ハレタ此世相ノ中ニ於テ、政府ガ「ファッショ」政治ノ前奏曲ナリトシテ此提案ヲナサレタト云フコトヲ、世間ニ言フ者ガアルノモ、餘リ無理ナ想像バカリトモ申サレマスマイ(拍手)私ハ政府ニサル惡意ガアリトハ信ジマセヌ、併ナガラ政府ガサル惡意ガナイト致シマシテモ、政府ハ此法案ニ、立憲政治ヲ麻痺セシメ、帝國議會ヲ麻痺セシムル毒素ガアルト云フコトハ御氣付ニナリマセヌカ、又此毒素ヲ服用シマスレバ、或ハ恐ル、立憲政治ハ永久ニ眠ヨリ覺メザルト云フ危險ガアルト云フコトニ御氣付ニハナリマセヌカ、私ハ此點ニ付キマシテ深憂ヲ懷イテ居ル者デゴザイマスルガ、政府ハ斯ノ如キ違憲ノ提案ヲ、速ニ撤回セラ、意思ハアリマセヌカ、我國ノ國民性ト致シマシテハ、毒ヲ仰イデ死スルト云フ女々シイコトハ、我が國民性デアリマセヌ、吾々國民ハ本當ニ國家ノ爲ニ死スベキ場合ニハ、毒藥ハ地ニ投棄テテ、自ラノ手ニ依ッテ腹十文字ニ搔切リ、腸ヲ抛チ劍ニ伏シテ死スルト云フノガ、我が日本國男兒ノ本領デアリマス(拍手)私ハ政府ガ假令惡意デナクトモ、立憲政治ヲ麻痺セシムルヤウナル法案ハ、速ニ之ヲ撤回サレンコトヲ望ミマス、併シ私ハ斯ク申シタカラ

ト云ッテモ、政府ノ國家總動員ノ計畫ニ付テ何等ノ異論ガアル者デハアリマセヌ、早ク真正ナル國家總動員法案ヲ御提案爲サルベシト考ヘテ居ル、詰リ本法ニ規定セル第二十條ニ至ル迄ナラバ、憲法第二章ノ臣民ノ權利義務ニ關スルモノデア、是ナラバ大權ニ保留ラサレテ居リマス、政府ハ自己ノ責任ニ於テ此點ハ爲シ得ベキコトヲ爲シ得ル途ガアル筈デア、第二十一條以下ニナッテ本當ニ吾々ノ立法權ノ範圍ニ屬スルモノデア、之ヲ以テ國民ニ嚮フ所ヲ示シ、本當ノ總動員計畫ヲ織込ンダ真正ナル總動員法ヲ御提案ナサレマスレバ、吾々ニ於テハ何等異議アル譯デナク、悅ンデ之ニ協賛ノ義務ヲ盡スニ吝ナラヌノデアリマス、私ハ此點ニ付キマシテハ府政ノ本當ナル御考ヲ求メナケレバナリマセヌ、吾々ハ去ル十日ニ於キマシテハ、我國ノ憲政ノ三大偉人タル伊藤、大隈、板垣ノ三先輩ノ銅像ノ除幕式ガアリ、去ル十一日ノ紀元ノ佳節ニハ天皇陛下ノ御名代トシテ秩父宮殿下ノ御台臨ノ下ニ、憲法發布五十年記念式ニ於テ、畏クモ 陛下ヨリ「朕カ忠良ナル臣民宜シク憲章ヲ奉遵シテ愆ラス」ト云フ有難キ勅語ヲ拜シマシテ、陛下竝ニ 明治大帝ノ宏謨ニ感激シ、下リテハ三大偉人ノ功績ヲ追慕シタル直後ニ、斯ノ如キ憲政上重大ナル質問ヲ爲サザルベカラザル立場ニ立ッテ、萬感胸ニ溢ル、コトヲ禁ジ得マセヌ、私ハ赤心ヲ披イテ政府ニ此點ヲ御伺致シマス、速ニ斯ノ如キ法案ハ撤回サレ、政府ノ責任

ニ於テ爲シ得ベキコトハ之ヲ爲シ、本當ニ立法事項ニ屬スル分ヲ、本當ナ國家總動員法案トシテ提出サレ、吾々ガ速ニ協賛ノ義務ヲ盡シ得ルヤウニシテ戴キタイノデアリマス、斯ノ如キ違憲ノ法、サウシテ我國ノ國體ニ反スルヤウナ法案ヲ、強ヒテ協賛セヨト仰セラレテモ、吾々ハ斷ジテサル不臣ノ法案ニ協賛シ、不臣ノ罪ヲ犯スコトハ出來マセヌ、此最後ノ點ニ付キマシテハ、私ハ近衛首相自ラ出席サレタル場合、自ラ御答辯アラシコトヲ望ミマス(拍手)

(國務大臣末次信正君登壇)

○國務大臣(末次信正君) 池田君ニ御答致シマス、國家總動員ハ盡忠報國ノ國民精神ト相俟タネバナラス、否此大精神コソ總テノ物的動員ニ先行シ、是ガ根本ヲ成スモノデアルト云フコトハ今更申ス迄モアリマセヌ、隨テ國民精神總動員ニハ此上愈、力ヲ用ヒ、舉國一致堅忍持久、盡忠報國ノ實ヲ擧ゲタイト存ズルノデアリマシテ、此點ニ於キマシテハ池田君ト何等意見ノ相違ハナイト存ジマス、新聞紙其他出版物ノ記載事項ヲ制限又ハ禁止スル條項ガアリマスガ、是ハ現ニ行ヒツ、アル所ヲ條文化シタニ過ギナイノデアリマス、言論集會及ビ新聞紙ニ關シ、只今申上ゲタ以外ノ取締ニ付テ御尋ガアリマシタガ、政府ノ提案ニハ只今御尋ノヤウナ條項ハナイノデアリマス、隨テ今マデ通リト御答スル外アリマセヌ

(國務大臣杉山元君登壇)

○國務大臣(杉山元君) 經濟動員ヲ致シマ

シテ、十分ニ其力ヲ發揮致シマスルコトニ付キマシテハ、只今池田君ノ御述ニナリマシタ點ト全ク同感デアリマス、即チ政府ト致シマシテハ、有ユル方法ヲ講ジマシテ、今日マデ與ヘラレタル法律或ハ勅令ニ依リマシテ、出來得ル限りノ發展ヲ期シテ居ルノデアリマス、併ナガラ今後ニ於キマシテ、戰時又ハ準戰時ノ事變ニ際シテ、經濟力ヲ益、最高ニ發揚致シマスル爲ニ必要ナル法律ヲ、茲ニ此總動員法ニ立案致シタノデアアルノデアリマス、隨テ此法案内ニ足ラザル點アリト言ハレマスルガ、足ラザル點ハ政府ガ今日マデ與ヘラレテ居リマスル所ノ法律竝ニ行政權ニ依リマシテ、實行ガ出來得ルノデ、之ニ擧ゲテ居ラスノデゴザイマス、要スルニ池田君ノ御質問ニナリマシタ點ニ付キマシテハ、十分ニ政府トシテ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス

第二點ニ付キマシテハ、昨日御答ヲ申シタ通りデアリマス、殊ニ勅令ヲ速ニ制定ヲシマシテ、之ヲ發布ヲ致シマスルコト云フ事柄ハ、今後ノ事態ニ應ジマシテ、此度ノ事變ノミナラズ、將來ニ於キマシテ國際ノ變轉ハ測ルベカラザルモノガアルノデアリマス、隨テ北ニ向ヒマスル場合ト、西ニ向ヒマスル場合ト、東ニ向ヒマスル場合ニ依リマシテ、此中ニ織込ムベキ事項ガ自ラ變ッテ參リマスルノデアリマス、此點ヲ能ク御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

第三點ニ本法ニ依ッテ議會ヲ麻痺セシメル云々ト云フ御言葉ガアリマシタ、政府ト

シテハ斯ノ如キ考ハ絕對ニ持ッテ居リマセヌ、寧ロ本案ガ速ニ成立致シマシテ、今後如何ニ狀況ガ變化致シマシテモ、之ニ應ジ得ル準備ヲ速ニ完成致シタイコトヲ切ニ希望スルノデアリマス(拍手)

(國務大臣鹽野季彦君登壇)

○國務大臣(鹽野季彦君) 御質問ノ第一點ハ、本法ハ大權干犯ニアラズヤト云フコトニ歸著スルヤウデアリマス、本法ハ憲法第二章臣民ノ權利義務ニ關スル規定ニ則リマシテ、臣民ノ自由財産ヲ制限致シマスルニハ、法律ニ依ルベシトノ憲法ノ章條ニ基キマシテ、立案致シタモノデゴザイマス、併ナガラ憲法第三十一條ノ非常大權ハ、法律ヨリ尙ホ一層強大ナルモノデアアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、本日茲ニ本法ガ成立致シマシタト致シマシテモ、是ハ非常時ノ際ニ、非常大權ガ發動サレル場合ニハ、其不足ヲ補ヒ、若クハ支障アルモノヲ廢シ、或ハ本法全部ヲ排除サレルト云フコトモアリ得ルノデアリマス、何等大權ヲ干犯スル所ハ毫モナイト信ジテ居ル次第デアリマス(ソレナラ無用デヤナイカ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ)無用ナリトノ御説ヲ聞キマシタガ、甚ダ以テ本案ノ趣旨ヲ御了解シテ居ラスト考ヘルノデアリマス、固ヨリ非常大權ニ依リマシテ、非常ノ時局ノ際ニハ、種々ナル御命令又御處分ガアルコトデハアリマセウガ、左様ナ危急存亡ノ危機ニ於キマシテハ、固ヨリ國民全般ハ義勇公ニ奉ズルノ精神ヲ以テ働クデハゴザイマセウガ、

突如トシテ大權ノ發動ニ現レマスル事柄ハ

〔何ダソレハ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ)

○議長(小山松壽君) 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君)(續) 尙ホ……

(發言スル者多シ)

○議長(小山松壽君) 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣(鹽野季彦君)(續) 先ヅ暫ク御聽ヲ願ヒマス、只今申シタ——トカト云フ言葉ハ唯一時ノ國民ガ……(取消セ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ)能ク御聽ヲ願ヒマス、(取消セ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ)暫ク御待チヲ願ヒマス、言葉ノ全部ヲ御聽取ニナラスカラ色々誤解ヲ生ジマスルノデ……此處ニ——ノ箇所ノ言葉ハ取消シマス(宜シ)「拍手」併ナガラ將來ニ於テ左様ナ非常時局ニ於テハ、近代ノ戰爭ノ態樣カラ申シマシテ、國家總動員ノ態勢ヲ整ヘテ居ルコトガ最も必要ナノデアリマスルカラ、其大綱ヲ定メテ置キマスルコトハ、今日ヨリモ之ヲ豫想シ得ル所デアリマス、隨テ豫想シ得ル範圍ノ大綱ヲ定メ、國民一般ヲシテ之ニ應ズル心構ヘヲ作ル、而シテ人的物的ノ資源ヲ統制致シテ參ルコトニ、研究モサセテ置ク必要ガアルノデアリマス、平素カラ其準備ヲ爲スニ於キマシテハ、非常ノ時局ニ於テ眞ニ國家ノ全能力ヲ擧ゲテ、戰勝ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスルカラ……(反對ハ

シテ居ナイヨ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ
左様デアリマスカラ、茲ニ此案ヲ提出スル
譯デアリマス、決シテ大權ヲ干犯スルト云
フヤウナコトハ、毫モ考ヘテ居ナイノデア
リマス

第二點ハ委任立法ト云フ御話デアリマシ
タガ、成程本案ニ於キマシテハ、各條ニ多
數ニ勅令ノ定ムル所ニ依リト云フ規定ヲ入
レテ居リマス、併ナガラ斯ル實例ハ既ニ大
正七年ニ成立致シテ居リマスル軍需工業動
員法ヲ初メト致シマシテ、昨年ノ臨時議會
ニ於テ成立致シマシタ各種ノ臨時立法ニ於
テ、其例ヲ見ルノデアリマス(觀念ガ違
フ)ト呼フ者アリ)併ナガラ其勅令ノ内容ガ
判然致サヌ爲ニ、色々ノ御議論モ出ルコト
ダト考ヘラレルノデアリマスルガ、戰時ノ
ヤウナ、事態ガ常ニ動イテ、之ニ即應致シ
マシテ、適切ニシテ且ツ迅速ナル處置ヲ執
リマスルニハ、ヤハリ命令ニ委任シテ置ク
コトガ適當ト考ヘラレルノデアリマス、固
ヨリ戰時ノ狀態デアリマスルカラ、色々ナ
豫想セザル所ノ必要ヲ感ズルコトデアラウ
ト存ジマス、併ナガラ今カラ豫想シ得ル所
モアルノデアリマシテ、左様ナ點ニ付キマ
シテハ、勅令ノ内容ヲ綱領ト致シマシテ、
各位ニ御示スル積リデアリマス、併ナガ
ラ現在ニ於テ豫想シ得ル事項ニ付キマシテ
モ、或ハ軍機ノ祕密等ニ互ル種類ノモノニ
ナリマシテハ、早ク之ヲ勅令トシテ發表シ
テ置クコトハ、國家ノ爲ニ非常ナル不利益
デアリマス(ソソナコトハ分ッテ居ル)ト呼

フ者アリ) 隨テ相當ノ時期ニ於テ之ヲ發布
スルト云フコトニナリマスルカラ、法律ノ
上ニ於テ現ハスノト、勅令ノ上ニ於テ現ハス
ノト、何等差異ガナイデハナイカト云フ御議
論ハ、稍感服ハ出來ナイト思フノデアリマス

次ニ本法ハ樞密院ニ御諮詢ノ奏請ヲ爲シ
タカドウカト云フ御尋デアリマシタガ、本
法ハ樞密院ニ御諮詢ノ奏請ヲ致サナイノデ
アリマス、是ハ樞密院官制ノ從來ノ解釋竝
ニ慣例ニ依リマシテ、御諮詢事項ニハ屬セ
ナイコトニナッテ居ルノデアリマス、同官制
ノ憲法附屬ノ法律ト申シマスルノハ、憲法
ト同時ニ公布セラレマシタ例(ハ議院法ト
カ、衆議院議員選舉法トカ、或ハ會計法ト
カ、裁判所構成法トカ、色々左様ナ種類ノ
モノヲ指シテ居ルノデアリマス、又重要ナ
ル事項トシテ臨時ニ御諮詢ヲ奏請スルモノ
ニ付キマシテハ、主トシテ議會ノ協賛ヲ求
メナイ勅令ニ付テ、御諮詢ヲ願フノデアリ
マス、斯様ナ次第デアリマスルカラ、本案ニ
付テハ御諮詢ヲ奏請スルコトハ致シマセヌ
(斯ル重大ナ法案ニ對シテ、アナタハ「メモ」
ニ書イテ貰ッテ答辯スルヤウナソソナ信念ノ
ナイコトドドウスルカ、信念ヲ以テ答辯シ
ナサイ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ)尙ホ本
法ヲ撤回スベキヤ否ヤト云フ御質問ニ對シ
マシテハ、總理大臣ノ出席ヲ待タズ撤回スル
意思ハ毫モアリマセヌ

(ソレガ日本ノ國務大臣デスカ)ト呼

ヒ其他發言スル者アリ)

○議長(小山松壽君) 靜肅ニ願ヒマス

(池田秀雄君登壇)

○池田秀雄君 我ハ鹽野國務大臣ニ、モウ
一ツ質問ヲ致シマス、私ハ政府ニ對シテ此法
律案ガ大權ヲ干犯スル意思アリトシテ出サ
レタモノデアアルヤ、否ヤト云フコトハ尋ネ
テ居リマセヌ、唯本法案ハ大權ヲ干犯スル結
果トナルノデハナイカト云フコトヲ尋ネテ
居ルノデゴザイマス、三十一條ノ大權ヲ施
行ノ發動ヲ制限スル法律デハナイカト言フ
ノデゴザイマス、政府モマサカサウ云フ意
思ヲ以テ此法案ハ出サレマスマイ、併ナガ
ラ大權ヲ施行ヲ制限スル結果トナルカラ、大
權干犯デアルト申上ゲルノデアアル(拍手)然
ルニ鹽野國務大臣ハ、大權干犯ノ意思ガナ
イト言ウテ居ラレマス、私ハ意思ヲ問フテ
ハ居リマセヌ、私ハ其他色々伺ヒタイ點ガ
アリマスルケレドモ、此點ガ私ノ質問ノ眼
目デアリマスルカラ、明確ニ大權干犯ヲス
ル意思ガナイト云フ點デナク、本當ニ干犯
スル結果トナラナイト云フコトヲ、吾々ノ
理解スルヤウナル御答辯ガナケレバ、吾々ハ
承服スルコトガ出來ナイノデアリマス、此
點ヲモウ一度明ニサレンコトヲ望ミマス
(拍手)

(國務大臣鹽野季彦君登壇)

○國務大臣(鹽野季彦君) 只今ノ御尋ハ、
其結果ニ於テ干犯スルヤウナ結果ガ起リハ
セヌカト云フコトデゴザイマシタガ、凡ソ
憲法第二章ニ規定致シテアリマスル所ノ、臣
民ノ權利義務ノ規定ヲ見マスルト、臣民ノ
自由財産ニ付テハ、法律ニ依ッテ之ヲ制限セ

ヨト云フコトデアリマシテ、其範圍内ニ於
テ法律ガ多數出テ居リマシテ、申サバ民法、
刑法初メ皆之ニ依ルノデゴザイマス、然レ
ドモ是等ノ法律ハ何等非常大權ヲ侵ス所ノ
結果ヲ生ジテ居ルノデハアリマセヌ、非常
大權ガ發動セラレル場合ニ於テハ、ソレ等
ノ法律ヲモ、總テ超越シテ御處置ニナルコ
トデゴザイマス

(池田秀雄君登壇)

○池田秀雄君 只今鹽野國務大臣ガ、先例
ガアルト言ハレマス、併シ私ガ今マデ申上
ゲタコトハ、從來ハ歐米流ノ解釋ニ依ッテ、
我が帝國憲法ガ正解サレテ居ナイ、此惡例
ハ一掃スベキデハナイカト云フコトガ主眼
點デゴザイマス、隨テ私ハ此憲法ノ第二章
ガ、我が帝國憲法ノ本義カラ致シマスレバ、
大權ニ依リタル臣民ノ權利義務ハ、法律ニ
依ッテ奪フコトハ出來ズシテ、獨リ大權ニ依
テノミ之ヲ停止スルコトヲ得ルノデハナイ
カト云フノガ、私ノ質問ノ本旨デゴザイマ
ス、ソレデ私ガ伺ヒマシタル、政府ハ我國
ノ獨特ナル憲法ヲ尊重スルノ誠意アリヤ否
ヤ、若シ誠意ガアルナラバ、事實ノ上ニ於
テ示シテ貰ヒタイ、口先ダケデハイカスト
云フノハ、此點ヲ指サスモノデゴザイマス

(國務大臣鹽野季彦君登壇)

○國務大臣(鹽野季彦君) 我國獨特ノ憲法
ヲ尊重スベキコトハ、申ス迄モナイコトデゴ
ザイマス、其憲法ノ章條ノ解釋ニ付キマシ
テ、聊カ御意見ト違フヤウデアリマス、私
ハ先刻申述べタ通りニ解釋シテ居ル者デゴ

ザイマス

○議長(小山松壽君) 深澤豊太郎君

〔深澤豊太郎君登壇〕

○深澤豊太郎君 私ハ先ヅ第一ニ御伺ヲ致シタイコトハ、本案提案ノ理由トナッテ居リマスル、今日ノ此重大ナル時局ト云フコトニ付テ、御伺ヲ致シタイノデアリマス、即チ此時局ニ依ッテ本案ヲ提出セラレタ、昨日陸軍大臣ハ語ヲ強メテ、此重大ナル國家存亡ノ岐ル、時ト言ウテ居ルノデアリマス(其通りヂヤナイカ)「黙ッテ聽ケ」ト呼フ者アリ)ソコデ政府ハ本案提案ノ理由ニ於テ、頗ル簡單ニ御説明ニナッタノデアリマスケレドモ、國家存亡ノ岐ル、時デアリマスルナラバ、先程來論議ニナッテ居リマスル幾多ノ方法ガ、講ゼラレナケレバナライノデアリマス、外務大臣ハ此國際情勢ニ對シテ、具サニ議員ノ諒解ノ行ク迄ニ、政府ノ見ル所ヲ前提トシテ、御發表ニ相成ラナケレバナライモノデアルト思フノデアリマス(拍手)即チ最近ノ日「ソ」ノ關係ハドウナッテ居ルカ、漁業條約トカ、北樺太ノ利權ノ確保デアルトカ、國境方面ニ於ケル紛争デアルトカ、彼ノ我が公館ニ對スル非友誼的態度ト云フヤウナコト、及ビ英國ノ今日迄ノ態度ト、英内閣ノ最近ノ政變ノ及ボス影響、乃至ハ英米共同ノ海軍問題ニ對スル日本ニ對スル壓迫、幾多政府トシテハ胸襟ヲ披イテ議員ニ披露シナケレバナライモノガアル筈デアリマス(ヒヤ／＼、拍手)外務大臣ハ、陸軍大臣ガ稱シテ國家存亡ノ岐ル、時

デアルト言フ此國際情勢ニ對シテ、胸襟ヲ披イテ議員ノ諒解ヲ得ルダケノ説明アラシコトヲ希望致ス者デアリマス(拍手)單リ日本ガ其國際危機ニ立ッテ居ルバカリデハナク、日本以外ノ列國ノ間ニ於テ大戦勃發ノ危險アリ、日本モ亦其脅威ヲ感ズルト云フナラバ、此點ニ付テモ詳細ナル所見ヲ承リタイノデアリマス、是ハ本案提案ノ政府ノ説明ニ對スル前提條件トシテ御伺致スノデアリマス

第二ニ伺ヒタイコトハ、本案ガ此議場ニ現レマシタル徑路ニ付デアリマス、私共ハ此時局ニ當ッテ、政府ハ幾多ノ政策ヲ行ッテ來タケレドモ、遂ニ其政策ガ行詰ッテ、最後ノ寶刀ヲ以テ此時局ニ向ハントスルニ至ッタノデハナイカト思フ、然レバ即チ近衛内閣ノ此時局ニ對スル擔當力ハ、此寶刀ヲ以テスルニアラザレバ此時局ヲ擔當シ得ザル程、貧弱ヲ暴露シタモノデアルト言ハナケレバナラス(拍手)又私共ノ最モ處レマスルコトハ、此法律ガ今日ノ時局ノ必要上現レテ來タモノデアルカ、乃至一部ニ行ハル、「イデオロギー」ノ所産デアルカ否カト云フ點デアリマス、是ハ此大權ヲ政府ガ握ラントスル策動乃至今日マデノ傾向ハ、吾々常ニ之ヲ看取スルコトガ出來タ、五・一五事件以前ニ於ケル、日本ノ或ル一部ニ唱ヘラレマシタル「ファッシヨ」ノ計畫ノ中ノ文書ニ於テ、我が憲法治下ニ於テハ、憲法ヲ停止セズシテ、憲法ヲ停止シタト等シキ政治行動ノ出來ル方法ハドウカト云フ一點ニ於テ、

此政治ノ大權ヲ政府ガ握ラウトスル方法ガ、企テラレテ居ッタノデアリマス、此「ファッシヨ」ノ傾向ニ乗ッテ居ル「イデオロギー」カラ、斯ノ如キ法律案ガ生レ來ッタノデハナイカ、若シ左様デアリマスレバ、重大ナリト云ハナケレバナライノデアリマス、此法案ト、昨日引例セラレマシタル獨逸ノ授權法トノ關係ヲ見マスレバ、此間ノ處ナシト見ルコトハ出來ナイノデアリマス、即チ授權法ニ於キマシテハ、第一條ニ、獨逸ノ法律ハ憲法ニ依ッテ規定セラレタル以外ノ方法ヲ以テ、獨逸國政府ガ制定スルコトヲ得、豫算ニ付テモ同様ニ、議會ノ協賛ヲ得ルヲ要セズト規定シ、第二條ニハ、獨逸國政府ハ、憲法ニ違反セル法律モ制定スルコトヲ得ト規定シタ、而シテ參議院、衆議院ノ權限ニ觸ル、モノハ、此法律ニ規定セザルコトヲ條件トシテ、議會ハ認メタノデアリマスケレドモ、一タビ此法律ガ制定セラレタル後ノ獨逸ノ議會政治ノ有様ハ、各位御承知ノ通りデアリマス、勿論議會ガ立法權ト豫算審議權ヲ失ッタル後ハ、議會ナキニ等シイノデアリマス、本法案ヲ極言致シマスルナラバ、政府ハ法律ヲ制定スル權利ヲ認ムルト云フ法律ヲ、議會ニ出シタノデアリマス、即チ議會ハ、政府ノ手ニ於テ、勅令ノ名ニ於テ法律ヲ制定スルコトヲ得ト云フコトヲ認メヨト云フ法律ガ提案サレテ居ルノデアリマス(拍手)諸君、政府モ亦法律ヲ制定スルコトヲ得ト書イテアル獨逸ノ授權法ト、政府ガ勅令ノ名ニ於テ法律ヲ制定

スルコトヲ得ト書イテアル此案ト、何處ニ相違致スコトガアルデアリマセウカ(拍手)一タビ議會ガ此國民ノ權利、自由、財産ニ對スル全權ヲ擧ゲテ、政府ノ勅令ノ制定ニ委セルト云フ法案ヲ通シマシタナラバ、衆議院ハ即チ立法權ヲ拋棄シタモノト云ハナケレバナラスノデアリマス(拍手)立法權ヲ拋棄致シタル後ノ議會ノ有様ハ、想像スルダニ慄然タラザルヲ得マセウ、今日既ニ議會ノ權限ハ幾多狹メラレ、議院ノ尊嚴ハ冒瀆セラレ、政黨ノ威信ハ失墜セラレテ來テ居ル、此最後ノ彈壓ガ茲ニ下ッテ來タ、私ハ敢テ言フ、二・二六事件ハ行政政府ニ對スル「クーデター」ノ企デアッタ、此國家總動員法ハ立法府ニ對スル二・二六事件ガ起リツ、アルノダト斷言シテ憚ラナイ(拍手)吾々ハ斯様な法律ガ此「イデオロギー」ニ依ッテ生レ來ッタモノデアナイコトヲ、勿論現内閣ニ之ヲ期待致スノデアリマス、現内閣ハ左様ナ「イデオロギー」ニ依ッテ本案ヲ提出シタモノデアイト、此議場デ言明セラレルデアリマセウ、併ナガラ現内閣ノ次ニ來ルモノ、或ハ後ニ來ルモノニシテ、此法案ノ權力ヲ以テ「ファッシヨ」同様ノ政治ヲ行フ内閣ハ斷ジテ出來ナイト云フコトヲ、現内閣ノ誰ガ言明スルカ(拍手)近衛總理大臣或ハ廣田外務大臣ハ、此法律ヲ内閣ノ權限ニ委ネテ置イテモ、次ニ來ル内閣ガ之ヲ以テ「ファッシヨ」ヲ行フヤウナ内閣ハ出來ナイト斷言シ得ルデアリマセウカ、私ハ今日ノ日本帝國ノ動向ニ對シテ、斯ノ如キ勇敢ナル斷言ガ出來

得ナイ狀態ニ進ミツ、アルノデハナイカト
思フ、私は是等ノ點ニ對シマシテ、現内閣
ノ所見ヲ伺フテ見タイ、若シ萬一ニモ斯様
ナコトガアリト致シマシタラバ、吾々オ
五ニ今日議會ニ議席ヲ有シマスル者ハ、恐
ラクハ子孫ニ依ッテ其墓ヲ發カル、程ノ怨
ミヲ買ハナケレバナラスト思フノデアリ
マス(拍手)吾々ノ先輩諸氏ガ、産ヲ傾ケ
身ヲ抛ッテ築キ上ゲタル今日ノ憲法ノ殿
堂ガ、此一片ノ法律ニ依ッテ滅ボサル、ノ
カト思ヒマスナラバ、吾々ハ最モ慎重
ニ、最モ勇取ニ、非常ナル決意ヲ以テ本
案ノ審議ニ當ラナケレバナラナイト思フ(拍
手)何故私ハ斯様ナコトヲ言フカ、先日訛傳
デアルトカ何トカ傳ヘラレテ居リマスケレ
ドモ、某大官ハ、百万ノ皇軍ガ海外ニ出動
致シテ居ル時、憲法論ナドハ致シテ居ル場
合デナイト言ハレタ、諸君……(名前ヲ言
ヘ)ト呼フ者アリ(名前ハ言ハズトモ諸君御
承知ノ通りデアアル、此考ガ現内閣ノ本案提
出ノ根柢ニ流レテ居ルノデハナイカト思フ、
諸君、百万ノ皇軍ハ何ノ爲ニ出征致シテ居
ルカ、言フ迄モアリマセヌ、國體ノ精華ニ
依ッテ戰ヒツ、アリマス、併ナガラ是ガ成文
化サレタルモノハ、帝國憲法ニ於テ十一條
ニ天皇ノ統帥、十二條ニ天皇ノ編制、十三
條ニ天皇ノ宣戰ノ大權ガ定メラレ、二十條
ニ兵役ノ義務ガ定メラレテ、之ヲ名譽トシ
テ出征致シテ居ルモノナデアアル、憲法ニ
依ッテ出征ヲ致シテ居ル百万ノ皇軍デアアル、
即チ百万ノ皇軍ハ身ヲ以テ憲法ニ殉ジツ、

アルト言ウテ差支ナイ(拍手)此憲法ノ行者
トモ言フベキ百万ノ皇軍ヲ、戰地ニ派遣致
シテ居ル以上、銃後ニ居ル吾々モ亦身ヲ以
テ憲法ニ殉ズルノ覺悟ガナケレバナラナイ
(拍手)然ルニ獨リ瀧企畫院總裁ノミデハナ
イ(瀧ガドウシタノダ)ト呼フ者アリ(今司
法大臣ハ三十一條ニ依ル大權ノ發動ガアツタ
場合、國家ガ——スル云々ノ發言スラ致シテ
居ルノデアリマス(ヒヤ)取消サレマ
シタカラ責ムルノデハアリマセヌ、何レ各
位ニ依ッテ速記録上明細ニセラル、コトデ
アラウト思ヒマスルケレドモ、此考ガ本案
ヲ生ンデ來タノダ、即チ國民ヲ信任セザル
ガ爲ニ此法律案ハ生レテ來タ、私ハ思フノ
デアリマス、政府ハ何故モット國民ヲ信任セ
ラレナイノカ、信頼セラレナイノカ、現内
閣ハ斯様ナ恐ルベキ觀察ヲ以テ國民ニ臨ン
デ居ラレマス、併シ畏多クモ 明治天皇ハ
吾々國民ニ此憲法ヲ與ヘ賜ハルニ當ッテ、如
何ニ國民ヲ信頼遊バサレタルカヲ明ニ示サレ
テ居ラル、ノデアリマス(朕我カ臣民ハ即
チ祖宗ノ忠良ナル臣民ノ子孫ナルヲ回想
シ其ノ朕カ意ヲ奉體シ朕カ事ヲ獎勵シ相
與ニ和衷協同シ益、我カ帝國ノ光榮ヲ中外ニ
宣揚シ祖宗ノ遺業ヲ永久ニ鞏固ナラシムル
ノ希望ヲ同クシ此ノ負擔ヲ分ツニ堪フルコ
トヲ疑ハサルナリ)ト仰セラレタ(拍手)諸
君、是程國民ヲ信頼遊バサレタル御言葉ガ
何處ニアルデアリマセウカ、然ルニ政府ハ
最後ノ勅命ニ依ッテ發スル三十一條ノ命令
ノ發動ニ對シテスラ、國民ハ——スルナド

ト云フ考ヲ持ッテ居ル、是ハ霄壤ノ差ガアル
ト言ハナケレバナラヌ(拍手)政府ガ國民ヲ
信頼スレバ斯ノ如キ法律案ハ生レテ來ナイ、
總理大臣ノ告示一本ニ依ッテ澤山デアリマ
ス、アナタ方ハ堂上ニ居ラレマスルカラシ
テ、國民ノ今日ノ有様ガ御分リニナリマス
マイ、國民ノ白熱ノ事態ハドウナッテ居リ
マスカ、一新聞社ノ飛行機ノ獻金ニ六七百
萬圓ノ大金ガ集ッテ居ル、陸海軍ニハ日々十
萬、二十萬ノ大金ガ寄附セラレツ、アル、
獨リ斯ノ如ク窮乏ノ間カラ赤誠ヲ披瀝致シ
テ居ルバカリデハナイ、驛頭ニ、街頭ニ示
サレツ、アル國民ノ赤誠ハ如何デアリマ
スカ、街頭ニ出タコトノナイアナタ方ニ
ハ分ラナイ、之ヲ軍人サンニ聞イテ御覽
ナサイ、出征サレタ軍人サンガ銃後ノ國
民ニ付テ何ト御考ニナッテ居ルカラ——私
ノ家ガ偶、中隊本部ニナツタ、中隊長ハ出征ニ
當ッテ私ノ手ヲ握ッテ泣イタ、中隊ノ兵卒ガ町
ニ出テ煙草ヲ買ハウトシテモ、煙草屋ハ金ヲ
取ッテ呉レナイ、風呂屋ハ行ッテ風呂買ッテ取ッ
テ呉レナイ、石鹼ヲ買ッテモ、齒磨ヲ買ッテモ、
御町内デハ何ヲ買ッテモオ金ヲ取ッテ呉レナ
イカラ、兵隊共ハ御町内デ買フコトガ出來ナ
イト報告ニ來テ居リマスと言ッテ、私ノ手ヲ
握ッテ泣イテ行カレタノデアリマス(拍手)
我が國民ノ此戰爭ニ對スル熱意ハ、大小各
方面カラ觀察シテ、政府諸公モ日々聳々ト
其身ニツマサレテ居ラナケレバナラナイ筈
ナンド、此國民ヲ前ニシテ、非常大權ガ發
動シテモ——スルナドト云フ考カラ、斯様

ナモノガ生レ來タルノデアリマス、モット國
民ヲ信頼致シサヘスレバ、歐米流ノ個人主
義ニ依ッテ、或ハ歐米自由主義ニ依ッテ編マ
レタヤウナ法律ガ生レテ來ル筈ハナイ、内
務大臣ハ自由主義ハ赤化ノ溫床ダト言ハレ
タ、其赤化ノ溫床ノヤウナ歐米ノ翻譯的自
由主義、或ハ極端ナル個人主義デナケレバ、
斯様ナ法律ハ編纂致サレマセヌ、敢テ斷言
スル、此法律ヲ編マレタ人ハ、日本國民ハ
歐米流ノ個人主義、自由主義ノ國民デアアル、
此觀察ヲ下シタ其人モ亦歐米流ノ個人主義、
自由主義ノ人ニアラザレバ此法律ハ出來ナ
イ筈ダ(拍手)日本國民ハ斯様ナモノデア
リマセヌ、此點ニ付テ政府ハ十分ニ反省ヲ
セラルベキモノデアルト思フノデアリマス
私ハ憲法論ハ致サナイ積リデアリマシタ
ガ、二三ノ人ノ答辯ニ對スル私ノ二三ノ疑
ダケヲ質シテ置キタイト思フ、ソレハ法律
ト勅令ニ關スル限界デアリマス、伊藤公ノ
憲法義解ニ依レバ、勅令ハ法律ノ贋缺ヲ補
ヒ、其施行ノ細則ヲ定ムトアリマス、又憲
法義解ニハ屢、法律ト勅令トノ限界ヲ明ニ示
シテ居ル、殊ニ憲法上法律ニ依ルト規定シ
タルモノハ、勅令ニ規定スルコトヲ得ズト
明記致シテ居ルノデアリマス、此法律ト勅令
トノ限界ニ關スル政府ノ觀察、政府ハ一ニ
モ二ニモ前例ニ依ルト言ッテ居リマスケレ
ドモ、軍需工業動員法ノ如キ、一部限ラレ
タルモノニ對シテ、或ハ高橋藏相當時外國
ト對抗スル爲ニ、關稅ノ一部ニ政府ノ自由
裁量ヲ認メタルガ如キ、局部的ノ謂ハハ惡

例ヲ採ツテ以テ此全般的ノ前例ト致サント致シテ居リマス、憲法ノ原則ニ於ケル法律ト勅令トノ關係ヲ明ニ御説明ガ願ヒタイモウツツ疑ハ、三十一條ニ對スル先程來ノ御議論ガアリマシタガ、司法大臣ハ本日モ昨日モ、此法律ガアデモ三十一條ノ大權ハ法律勅令ノ如何ニ拘ラズ發動スルモノデアル、拘束セラル、モノデナイト御説明ニナツテ居リマス、私ハ政府ニ御伺ヲシタイ、此憲法第二章ノ規定ノ有ニ拘束、制限、剝奪、收用ニ關スルモノガ本法ニ規定セラレタル場合ニ、第二章ノ國民ノ權利、自由、財産ヲ制限シ、或ハ收用スル規定デアル所ノ三十一條ノ規定ハ、本法ガ發動シテモ尙ホ三十一條ノ規定ノ發動ノ餘地アリヤ否ヤ、三十一條ハ本法ノ如何ニ拘ラズ效力ガアル、發動スルト言ハレマシタガ、然ラバ其發動スル餘地ハ、此法律ノ行ハレタル後ニ於テ有リヤ無シヤト云フ點デアリマス、若シ本法ガ行ハレテモ、三十一條ハ斯ク斯クノ點ニ於テ發動致スノ餘地アリト説明セラレラバ、其三十一條ノ發動致サル、餘地ヲ御説明願ヒタイノデアリマス、私ハ昨日來ノ質問應答ヲ御伺ヲシテ、本法制定ノ後ニ於テハ、本法ハ所謂至ラザルナク、盡サルナク、三十一條發動ノ餘地ハ悉ク本法ニ依ッテナクナツテ居ルモノデアルト心配致スノデアリマス、司法大臣ハ斯ノ如キコトハナイト言ハレルノミデナク、三十一條ノ發動ハ斯様ナ場合ニ殘サレテ居ルト云フ點ガアツタ御伺ヲ致シタイノデア

リマス
ソレカラ尙ホ一點伺ツテ置キタイコトハ、樞密院ト企畫審議會トノ關係デアリマス、私ハ陸軍大臣ガ才居デニナリマセヌコトヲ洵ニ遺憾ト致シマスルガ、是ハ陸軍當局カラ大臣ニ御傳ヘラ願ツテ、答辯ヲ戴キタイノデアリマス、ソレハ本法發動ノ時期ニ付テノ説明、序ニ陸軍大臣ニ對スル質問ヲ申上ゲテシマツテ置キマスガ……
〔議長、大臣ハドウシタ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 深澤君、一寸御報告致シマス、陸軍大臣ハ大本營ノ御用務ニ依ッテ三十分バカリ退席スルトノ申出ガゴザイマス
○深澤豐太郎君(續) ソレデハ陸軍大臣ノ方ハ後廻シニ致シテ置キマス、唯引例致シマスルコトハ、陸軍大臣ハ、本法ハ豫メ國民ノ諒解ヲ得ル爲ニ先ヅ決メテ置カナケレバナナイト言ハレタ、其最後ニ於キマシテ、斯ノ如キモノヲ法律ニ明記致シマスル事柄ハ、將來ニ於ケル國際紛議、或ハ戰時ニ於ケル相手方ノ働キ、是等ノコトヲ稽ヘマスレバ、斯ノ如キコトヲ明記致シマスルコトハ、總動員ノ形態ノ内部ヲ發表スルコトニナリマシテ、無意義デアルト思ヒマスト言ウテ居リマス、曩ニハ國民ニ諒解ヲ求ムル爲ノ法律デアルト言ヒ、後ニハ國民ノ諒解ヲ致スベキ法律ノ内容ヲ發表スルコトハ無意義デアルト言ツテ居ル、何ヲ以テ國民ハ諒解ヲ致スコトガ出來ルデアリマセウ(拍手)私ハ茲ニ政府ヲ代表シタ方ニ御伺ヲ致シタイ、

企畫審議會ガ制定セラレテモ、之ニ關スルコトハ軍機ノ一切ヲ除カレテ居ルノデアリマス、諸君、我國ニ於テ法律ガ制定セラル、ニ當ツテ、立法院モ、或ハ樞密院モ、或ハ又此法律ニ決セラル、審議會等ノモノモ、一切ノ軍機ニ互ル祕密ヲ知ルコトガ出來ナイデ法律ガ制定セラレ、斯様ナコトガアリ得ルモノデアアルカドウカ、國民ノ耳目ヲ悉ク閉塞シテ、唯一部ノ人ト關係ノミガ知ツテ法律ガ作ラレタ場合、ドウシテ、國民ハ諒解致スコトガ出來マセウカ、此一切ヲ祕密ト言ツテモ宜シイ、恐ラクハ國家總動員ノ全般ニ互リマスルコトハ、軍部ハ之ヲ機密デアルト言ハレラウト想像セララル、今日ノ狀態ニ於テ、之ヲ決定スルニ當ツテ、憲法ノ機關ニ於テ、此祕密ニ涉ル事マデモ審查攻究シ得ル機關ノナイ筈ハナイノデアリマス、即チ樞密院ガソレデアリマス、樞密院ニ於テハ樞密顧問ノ職守ハ可否ヲ獻替シ必忠誠ヲ以テシ隱避スル所ナク而シテ審議ノ事ハ細大トナク至尊ノ特別ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ公洩スルコトヲ得ス蓋樞機密勿ノ府ハ人臣外ニ向テ譽ヲ求ムルノ地ニ非サルナリ」此伊藤公ノ憲法義解ニ依レバ、樞密院ニ於テハ、如何ナル事柄ト雖モ論議攻究セラレナケレバナライ、其樞密院ニ於ケル所ノ祕密事項ハ 天皇陛下ノ御許可ヲ受クルニアラザレバ、之ヲ公表スルコトヲ得ズト規定致サレテ居ルノデアリマス、此國民ノ權利義務ニ關スル重大ナル法律ノ内容ガ制定セラレニ當ツテ、何等ノ

機關ニモ之ヲ諸ラズシテ、制定セントスル政府ノ行動ハ、憲法上ノ立法手續トシテ最モ不當ナル、僭越ナル要求ト言ハナケレバナライナイノデアリマス(拍手)之ヲ憲法上如何ナル祕密事項トシテモ、審議シ得ル所ノ權限ヲ有スル樞密院ガ存在スル、茲ニ國民ノ生命財産ノ安固ハ確保セラレテ居ルト思フノデアリマス、何故ニ此樞密院ニ諮詢スルコトヲ悞レテ、委任立法ニ委ネントスルノデアアルカ、是ハ獨リ樞密院ニ對スル政府ノ「ボイコット」デアルバカリデアアリマセヌ、政府ハ此法律ニ依ッテ、樞密院ニ「ボイコット」スルコトハ出來ルデアリマセウ、併ナガラ 陛下ガ樞密院ニ御諮詢ニナルト云フコトモ 陛下大權ノ作用デアアルコトヲ知ラナケレバナリマセヌ、此法律ニ依ッテ 陛下ガ樞密院ニ御諮詢遊バサル、ト云フ陛下大權ノ作用ヲ、敢テ奪フトハ申シマセヌ、此大權發動ノ作用ヲ制限スルガ如キ虞ハナイカ、私ハ正ニ 陛下御諮詢ノ大權ノ發動作用ヲ、制限スルモノデアルト信ズルガ、政府ハドウ御考ニナツテ居ルカ
尙ホ私ノ一言致シタイコトハ、斯ノ如ク明治天皇ハ國民ヲ信賴シ遊バサレテ、憲法ヲ制定セラレタノニ、政府ハ國民ヲ信賴セザル法律ヲ提案シタ、三十一條ノ昨日來ノ論議ハ、法理的ニ見ルバカリデハナカラウト思フ、私ハ陸軍大臣ノ所謂國家存亡ノ秋——今既ニ存亡ノ秋デアルト言ハレテ居リマスルガ、存亡ノ秋デアレバアル程、存亡ノ秋ノ憲法上ノ規定ガ用キラレナケレバ

三六九

ナラナイト思フ、此三十一條ニ依ル勅命ノ發動ニ對シテ、國民ハ一ラスルドコロデハアリマセス、勅命ノ發動ガアツナラバ國民ハ將兵ガ出征致ス時ノ如キ心持ヲ以テ、御奉公ガ出來ルト思フ、此三十一條ノ規定ニ依ッテ、勅命ニ依ッテ吾々ガ命令ヲ受ケマスル時コソ、即チ大元帥陛下ノ下ニ國民ガ勇シデ出征スルト同様、生命モ財産モ喜ンデ之ヲ擲チマス、戰場ニ於テ將兵ガ天皇陛下萬歲ト唱ヘテ、從容死ニ就クト同様ニ、此三十一條ノ規定ノ發動セラレタ時ニハ、國民ハ天皇陛下萬歲ト唱ヘテ財産モ生命モ擲チマス(拍手)喜ンデ之ヲ國家ノ爲ニ捧グルノデアリマス、此國民ト政府ト渾然一體ト成ツタ協力ニ依ル國民總動員ヲ、何故政府ハ計畫ヲシナイカ、國民精神ヲ十分ニ理解ヲシテ、國民ト共ニ總動員計畫ヲ進メテ行クト云フ考ハナイノカ、斯様ナ法律ヲ作ッテ、却テ國民ノ忠誠ノ觀念ヲ傷ツケルガ如キ法律ヲ作ルコトガ、國民ト協力ヲ求メル途デアルカドウカト云フコトヲ、政府當局ノ信念ヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス

同時ニモウ一ツ伺ヒ置キタイコトハ、滿企畫院總裁ハ昨日「ラデオ」ヲ通ジテ、國民ニ總動員ノコトニ付テ説明ヲサレタ、私ハ餘程國民ニ理解ヲ求メル御講演ガアルモノト期待ヲ致シテ居リマシタガ、僅カ八分ニシテ終リニナツデシマツタ、丁度劇場ニ於ケル政府ノ説明ト同様デアリマス、是デ總動員ノ複雑ナル此法律ガ、國民ニ理解シ得タト思ハレマスカ、唯其中デ重大ナルコトハ、總

動員法ハ國民ノ生活ヲ保障スルモノデアアル、陸軍大臣モ昨日國民生活ト經濟ノ圓滑ナル運用ニ付テ、總動員法ガ必要ダト言ハレタ、此點ハ法案其モノヲ見レバ、列舉致サレマシタモノハ主ニ軍需資材ニ付テノ物資デアリマス、列舉致サレテ居リマス項目ハ、軍需ニ關スルモノデアリマス、此外ニ國民ノ經濟運行、國民生活全般ニ互ル保障ト致シマスナラバ、是ダケデハ盡キナイ筈デアル、之ヲモット廣汎ニ解釋スレバサウナルカモ知レマセヌガ、此列舉サレタモノダケデハ、サウハ思ハレナイ、シテ見ルト、最後ニ掲ゲテアル其他ト云フ文章ノ中、所謂風呂敷ノ中ニ包ンデシマツテ居リマス所ノ其他ト云フ規定デアリマス、第一條ニモ、第三條ニモ各、九號ニ於テ、前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル總動員上必要ナルモノトアルガ、此風呂敷ノ中ニ隱サレテ居ルモノハ、國民ノ經濟ノ圓滑ナル運行ト、國民生活ニ關スル一切ノ必要品ガ含マレテ居ルト承ル以外ニハ、仕方ノナイ御講演ヲナステ居ラレル、私ハ此場合ニ於テ二條、三條ノ第九號ニアリマス其他ト云フモノハ如何ナルモノヲ意味シテ居ルカ、之ヲ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

大體本法ヲ見マスルト云フト、總動員準備ト總動員ノ實行トガ、併セテ規定セラレテ居ル、私共ハ總動員ノ準備ハ今日必要ダト思フガ、總動員ノ實施ト演習ト一緒ニヤラレテ、サウシテ國民ニハ恐怖觀念ヲ起サセテ、政府ハ演習ノ積リデヤツテモ、實彈ヲ込

メタ演習ニ依ッテ本法ノ發動ノ結果、國民ハ到ル處ニ破産倒産シテ、戦死者相踵グ狀況ハ、想像ニ難クナイノデアリマス、此實施ト準備トノ法律ヲ何故一緒ニ規定セラレタカ、此點ニ付テ政府ノ所見ヲ承リタイ私ハ此場合、政府ニ實施其モノニ付テ御伺ヲ致シテ置キタイノデアリマス、國家總動員ノコトハ、政府ハドウ考ヘテ居ルカ知リマセヌ、内務大臣ナド殊ニ議會ノ情勢ニ通ゼラレテ居ル方トハ見ラレマセヌカラ、特ニ御注意ヲ願ヒタイ、我ガ衆議院モ、我ガ貴族院モ國家總動員ノ必要ナルコトヲ痛感シテ、幾度カ議會ニ於テ之ヲ建議シ、滿場一致ヲ以テ議決シタル其歴史ヲ十分ニ御承知願ヒタイ、國家總動員其モノニ付テハ、院議ハ其必要ヲ認メテ、政府ニ切ニ準備ノ促進ヲ促シ來ツタノデアリマス、然ルニ政府ノ其後ノヤリ方ヲ見マス、國家總動員ニ對スル準備ハ如何ナル有様ニナツテ居リマスカ、私共知ル範圍ニ於キマシテモ、最初軍需工業總動員法ガ決ルト共ニ軍需局ガ出來、統計局ト合セテ國勢院トナリ、ソレガ又散ツテ商工省工務局ニ行キ、軍需協定委員會ガ設置セラレ、國家總動員機關準備委員會モ設置セラレ、是等ハ皆議會ノ建議ニ依ッテ出來タモノデアリマス、尙ホ又資源局トナリ、調査局ノ新設トナリ、是ガ又企畫廳トナリ、而シテ後ニ資源局、企畫廳ガ合サツテ、今ノ企畫院トナツタ、是程ノ大仕事ヲ衆議院ガ要求シタノニ、現在ノ企畫院ノ費用僅ニ六十六萬圓、歲月ヲ費スコト二十

年、二十年ノ歲月ト是ダケノ變遷ヲ以テ、政府ハ今日マデ國家總動員ニ如何ナル準備ガ完成致シタノデアリマスカ、度々言フヤウデスガ、何等ノ準備ナキコトハ、此非常大權ガ發動セラレ、バ一ラスル處アリト言ツタ司法大臣ノ言葉デ、何等ノ準備ガ整テ居ナイコトヲ證明シテ居ルデハナイカ(拍手)此間ニ調査發表致シマシタ所ノモノハ、幾多統計ダケハ出テ居リマス、其他佛蘭西、「チエッコ」、英吉利、亞米利加ノ產業總動員、其他ノ法律ノ翻譯ハ出テ居リマスケレドモ、能動的ニ國家總動員ヲ實際ニ行フ場合ノ準備ト云フモノハ、擧ゲテ調査致シテ居ラナイ、私ハ此役人ノ怠慢ヲコソ責ムベキデハナイカト思フ(拍手)其役人ガ突如トシテ茲ニ總動員ヲ行フ爲ノ法律ヲ提案シテ來タ、私カラ見レバ役人ハ增長慢ニ陥テ居ルノデハナイカ、二十年掛ツテ何等ノ準備ノ出來ナカッタモノヲ、コ、デ之ヲ行フノダト云フ、其勇氣ニ驚カザルヲ得ナイノダ(拍手)先ヅ官僚諸君ハ自分ノ足下ヲ見ルベシト申上ゲタイ(拍手)時代ハ一轉致シマシテ、斯ウシテ企畫廳邊リデ色々ナコトヲ調査研究致シテ居リマスル間ニ、時局ハドン／＼進ンデ參ツタ、而シテ好ムト好マザルトニ拘ラズ、統制經濟ノ軌道ニ益、進ミツ、アルノデアリマス、私ハ此國家總動員ノ規定ナルモノヲ、經濟的ニ見レバ統制ノ強化デアル、乃至ハ管理デアルト思フノデアリマス、此經濟上、財政上カラ見ル統制ノ強化管理ニ進マウトスル、此國家總動員法ヲ前ニシテ、今日ノ

政府部内ノ有様ハ如何ナル状態ニ置カレテ居ルカ、私ハ是ハ説明スル迄モナク、其任ニ當ッテ居リマスル大藏大臣、商工大臣ハ、十分ニ痛感ヲ致シテ居ル筈デアラウト思フ、敢テ政府ハ統制經濟ヲ知ラズトハ申上ガマセヌケレドモ、日本ノ動向ガ好ムト好マザルトニ拘ラズ、統制ノ強化ガ要求セラレテ居ル場合ニ、一タビ統制ヲスレバ、統制ハ統制ヲ生シデ、何處マデモ進ムモノナノダ、此ノ國家總動員ガ行ハレテモ、此經濟ニ對シ、金融ニ對スル統制ハ、本法廢止ノ後ニ於テモ直チニ廢止スルコトハ出來マセヌ、獨逸ノ「シヤハト」經濟大臣ガ、獨逸ノ發展ハ自由經濟ニ還元スルニアリト言明シ、何トカシテ自由經濟ニ後戻リヲシヨウト努力シタケレドモ、遂ニ統制ハ益々強化サレツ、アル有様デアリマス、私共モ平和ノ時代デアリマスナラバ、統制ハ嫌ヒナノデアル、國家ノ爲ニ統制ハ採ルベキ途デハナイノデアル、統制經濟ヲ一言ニシテ之ヲ言ヘバ、極端ナル消極政策デアリマス、統制經濟ニハ積極部門ハナイノデアル、コノ數年來日本ハ非常ナル勢ヲ以テ發展シタ、一昨々年マデハ此形勢ヲ以テ行ケバ、英吉利、亞米利加ヲ凌駕スルコトモ近キニアリト思ハレル程ニ進ンデ來タ、一タビ統制經濟ノ部門ニ入ラナケレバナライナニ狀況ニ置カレテ後ノ日本ノ有様ハドウダ、是ハ申上ガデモ詮ナイコトデアリマス、統制經濟ノ強化サレツ、アルノニ、政府ノ機構ハ之ニ副ッテ居ルカドウカ、試ミニ諸君、大藏省ノ

爲替局ヘ行ッテ御覽ナサイ、爲替局長、課長以下整然トシテ居リマス、ケレドモ之ヲ獨逸ノ統制經濟ニ從事スル者五十万人、民間政府等ノ間接ニ之ニ從事スル者五十万人ノ費用ヲ見積レバ、年千圓ノ年俸トシテモ五億圓ノ費用ヲ費シテ居ルデハナイカ、ソレ程ノ人員トソレ程ノ經費トヲ以テセザレバ、統制經濟ノ完璧ヲ期スルコトハ出來マセヌ、私ハ大藏省、商工省ノ役人ヲ非議スルノデハナイ、役人達ガ如何ニ全力ヲ盡シテ見テモ、今ノ手ヲ以テ、今ノ金ヲ以テ、ドウシテ統制經濟ノ進行ガ出來ルト思召スカ、大藏省ヘ行ッテ爲替許可ノ願書ヲ出ス、大藏省デハ決裁スルコトハ出來マセヌ、商工省ニ對シテ是ハ必要ナモノデアルカ、「ストック」ガアルカナイカ、今必要ナモノデアルカ、延バシテモ宜イモノデアルカドウカヲ尋ネル、是ガ商工省ニ行ッテ見テモ、何處ニ商工省ガ調査スル機關ヲ持ッテ居ルカ、「ストック」ノ有無、必要ノ有無ニ付テ、商工省ハ如何ニシテ之ヲ調査スルカ、其部門ヘ行ッテ見レバ二三十人ノ役人ガ揃ッテ居リマス、ソシテコトデ統制經濟ニマダ一步モ踏出シテ居ラヌノダ、日本ノ國情ハ百歩進ンデ居ルノニ、政府ノ組織ハ一步モ進ンデ居ラナイ有様デス、私ハ此事ハ常ニ機會アル毎ニ政府ニ注意ラシタ積リナノデアル、一體輸入ノ統制ヲスルニシテモ、今日マデ過去三箇年間ニ何處ノ家ガ幾ラ輸入シタト云フヤウナ、物品ナリ金額ナリノ統計ヲ政府ガ持ッテ居ラズシテ、ドウシテ輸入ノ統

制ガ出來ルカ、統制經濟ノ消極政策デアルコトハ、ソコヲ言フノデアル、獨逸ニ於テ、伯林ニ於テ、タッタ一軒ノ日本ノ商店ガアル、中管ト云フ、一年三萬五千圓ノ輸入ヲ、日本人ノ生活必需品ノ爲ニ政府カラ許可サレテ居ル、然ルニ「オリムピック」ニ數萬ノ日本人ガ集ッタルニ、日本人ノ生活必需品ノ爲ニ許可ハ三萬五千圓、ソレヲ殖ヤシテ吳レト言ッテ願出タガ、前年通りダト言ッテ殖ヤシテ吳レナイ、非常ニ困ッタコトガアル、其原則ヲ破レバ統制經濟ハ壞レテシマフ、即チ過去三年間ノ實績ニ依ッテ輸入ノ許可ヲ爲スニアラザレバ、統制經濟ハ偏頗ニナッテ壞レテシマフ、今政府ハ何ヲシテ居ルカ、此調査ヲ一ツモ持タズシテ、而シテ緣故ト情實ト運動トニ依ッテ此許可ヲ行ハレテ、經濟界ハ大混亂ヲ起シテ居ルデハナイカ(拍手)敢テ此情實ヤ因縁ヤ運動ニ依ッテ許可ヲシテ居ルト云フコトガ誤傳デアッテモ、政府ノ調査ハ洵ニ進行ヲ致シマセヌ、今マデノ官僚ナラバ宜シイ、今マデノ政府ノ事務ナラバ宜シイ、監督ヤ命令バカリナラバ宜シイガ、今度ハ會社重役ノ立場ヲ政府ノ役人ガ執ラナケレバナライナニ時ニ、今マデノヤウナ有様デドウナルノデス、所謂官僚ノ仕事ノ有様ハ直グデ半年、宜カラウデ二年、調査考慮ハ五年、十年ト云フ有様デアル(笑聲)此緊急眉ニ火ガ點クガ如キ商機ヲ前ニ致シテ、直グデ半年、宜カラウデ二年、調査考慮ハ五年、十年ノ官僚ニ依ッテ統制經濟ガ完全ニ行ハレルモノデアルト思ッテ居ラレ

ルカ、國家總動員ガ行ハレルモノデアルト思ッテ居ラレルカ(ヤラナケレバिकासヂヤナイカ)ト呼フ者アリ)ソレダカラヤレルヤウニシナケレバिकासト言フノダ、ソレハ政府ノ役人ガ手腕ガナイノデアアリマセヌ、政府ノ役人ノ生レ落ちテカラノ教育ガ違ッテ居ル、今日マデノ仕事ガ違ッテ居ル、既ニ時代ハ政治ト經濟トガ渾然一體トナラナケレバナライヤウナ時代ニ進ンデモ、依然トシテ法科萬能、役人萬能デヤッテ居ル、ナゼ一時モ早ク文官任用令ヲ改正シテ、サウシテ民間ノ者ヲ入レテ、其筋々々ノ専門家ヲ御使ヒニナラナイカ、是ハ實際ニ……(本論ニ還レ)ト呼フ者アリ)本論ダ、國家總動員ノ本論ガ茲ニアル、即チ政府ノ一役人ノ前ニ行ケバ、砂糖ノコトデモ、蜜柑ノコトデモ、オ茶ノコトデモ、モウ農産物、礦産物、海産物、一人デ之ヲ受持ッテ、殆ド二進モ三進モ行カナイヤウナ有様ニ陥ッテ居ルノダ、各、専門ノ人ヲ入レタナラバ宜イデヤナイカ、獨逸ノ如キ體カ百八十二部門ガ千五百ノ小部門ニ分レテ、各、一人ノ人ガ箱ノ如クニ自分ノ頭ノ中ニ全部擔當ノ業界ノコトヲ詰込シテ居ッテ、願書一本出レバ必要カ否カ直グ分ルヤウニナッテ居ル、サウナラナケレバ駄目ナンデス、サウナラナケレバ統制經濟モ、國家總動員モ行ハレナイノデス、然ルニ今ノ有様ヲ見レバ、獨リ人員ニ於テ門戸ヲ開放セザルノミナラズ、官僚獨善ノ「トーチカ」ノ中ニ立籠ッテ居ルバカリデヤナイカ、政府ノ經濟機構ヲ見レバ、爲替局ナリ、貿

易局ナリ、或ハ通商局ナリ、之ヲ一ツニシテ一ノ役所ヲ建テナケレバ統制經濟ノ行ハレナイコトハ政府モ知ツテ居ル、政府機構ノ改革ヲ行フニアラザレバ、統制經濟ノ進行モ、國家總動員ノ進行モ、不可能ナノデアアル、國家總動員ニ當テ私ガ實施ノ法律ト準備ノ法律ト何故ニ分ケナイカト云フノハ此處ニアル、國家總動員ノ準備ノ爲ニ政府ハ何故ニ先ヅ自分ノ足下カラ國家總動員ニ相應ハシヤウナ機構ヲ建直シテオ出デニナラナイカ、何故ニ之ニ從事スル所ノ役人ヲ採用スルノ途ヲ採ラナイカ、(拍手)政府ハ自分ノ爲スベキコトヲ棚ニ上ゲテ置イテ、此非常大權ニモ等シキモノヲ議會ニ要求サレテ居ル、私共ハ前段申シタル通り國家總動員ノ必要ナルコトハ、之ヲ今日マデ幾度カ建議致シテ居ルノデアリマス、國家總動員ガ必要デアレバアル程、政府ハ國家總動員ニ相應シキ機構ヲ立直シテオ出デニナラナケレバナラナイ、内閣情報部デモ、外務省情報局デモ、或ハ又現在ノ企畫院ニシテモ、六十六萬圓ノ企畫院總裁閣下デ、ドウシテ此統制經濟、國家總動員ガ行ハレマス、何處ニ國家總動員ヲ行フノ豫算ガアリマス、統制經濟ヲ行フダケデモ一億圓ハ少クモ掛カル、私ハ政府ガ一文モ豫算ヲ伴ハザル本案ヲ以テ、若シ之ヲ實際ニ移シマスルナラバ、國民ハ無用ニ困惑セラレテ、無用ニ奔命ニ疲レテ、死屍累々タル有様ヲ呈スルコト明カデアルト思ヒマス、政府ハ本

法ヲ行フニ當ッテ、其萬全ヲ期スル爲ノ機構ナリ、人物ナリヲ御摘ヘニナルガ宜シイ、然ル後ニ本案ノ實施ニ關スルモノハ、之ヲ議會ニ提案セラル、ノガ當然デアラウト思フ、何等ノ準備ナク、何等ノ組織ナク、何等ノ準備ヘラ立テテ居ラズシテ、突如トシテ斯様ナモノヲ作ラレルコトハ、徒ニ國家ヲ混亂ニ導イテ、此目前ニ控ヘテ居ル帝國ノ危機ヲ乗切ル上ニ於テ、一大障礙ヲ惹キ起スニ過ギナイコトヲ恐レルノデアリマス(拍手)

陸軍大臣ガ御出デニナリマシタカラ陸軍大臣ニ御伺スル分ヲ申上ゲマス、第一ニ御伺シタイコトハ本法中國民ヲ徵用スルト云フ一事デアリマス、私ハ軍需工業總動員法中、軍籍ニ在ル者ヲ徵用スル、又軍籍ニ在ラザル者モ之ヲ徵用スルコトヲ得ル規定ガアル、併シ是ハ軍需工業ト云フ部門ニ限ラレテ居ル、即チ軍事ニ間接ニ從フ者デアルトシテ、是ガ認メラレタモノデアルト思フ、今一般的ニ國民ヲ徵用スルト云フ文字ニ接シタノデアリマス、帝國軍人ガ召集令狀ヲ受ケテ勇躍征途ニ上ル、此兵役ノ義務、召集令狀ニ對スル國民ノ觀念ガ、軍部ニアラズトモ、即チ天皇陛下ノ統帥大權ニ依ラズシテ、天皇陛下ノミガ國民ヲ徵用シ得ル此召集令狀以外ニ、政府モ亦國民ヲ徵用シ得ルト云フ規定ヲ設クルコトガ、此召集ニ關スル軍ノ精神ニ影響ヲ及ボスコト有リヤ無シヤ、陸軍大臣ハ國民ヲ徵用スルト云フコトガ、軍部以外ニモ許サレテモ、軍人ノ精神ニ影響ハ絶對ニナイト御考ヘニナリ

大臣ニ對シテ、國際情勢ニ付キ政府ノ見ル所ヲ明確ニシテ貰ヒタイ、「イデオロギー」ニ依ッテ本案ガ生レテ來タモノデハナイカ、而シテ今ノ内閣ハ「イデオロギー」ニ依ッテ生レテ來タノデハナイトシテモ、將來之ヲ惡用セラレルノ虞ハナイカ、官制、機構ノ改革ヲ先決問題ト考ヘルガ、之ニ付テノ御考ハドウカ、是ハ近衛總理大臣ニ御伺スベキ事柄デアリマスルケレドモ、首席大臣ヨリ近衛總理大臣ニ代ッテノ答辯ヲ要求致シマス、司法大臣ニ對シテハ、三十一條ハ有名無實ナルガ、有名無實トハナラナイノデアルカ、又三十一條ハ本法發布後ニ於テモ適用ノ餘地ガアルノデアルカ、其適用スベキ所ハドウ云フ所ニ殘サレテ居ルノカ其ノ説明ヲ求メマス、法律ト勅令トノ界限ニ付テ、又樞密院ノ權限ニ依ルニアラザレバ審議不可能デアアル、陸軍大臣ノ所謂何モカモ軍機ノ機密ダト云ッテ、國民ノ耳目ヲ蔽ハントシテ居ル本案ニ對シテハ、樞密院ニアラザレバ之ヲ明ニ致スコトハ出來ナイト考ヘルガ、何故ニ樞密院ニ掛ケルコトヲ忌避セラレテ、斯様ナ手續ヲ執ラレタカ、之ヲ司法大臣ニ御伺シマス、大藏大臣、商工大臣ニハ、今日ノアナタ方ノ部下ノ能力ヲ以テ、今進行シツ、アル統制經濟ニ對シ對處スルコトハ勿論、之ヲ強化シ、尙ホ管理ニマデ進メントスル國家總動員ニ對シテ、何等ノ差支ナシト言明シ得ルカドウカ、商工大臣、大藏大臣ガ國家ノ爲ニ圓滑ニ統制經濟ノ進行ヲ圖リ、國家總動員ノ進行ヲ圖ル上ニ於

マスカドウカラ御伺ヲ致スノデアリマス
次ニ陸軍大臣ハ昨日ノ御答辯ニ於テ、本法施行ノ時期ヲ紛淆セラレテ居ルト思フノデアリマス、先ニハ「政府ト致シマシテハ、此重大ナル國家ノ存亡ニ關スル時期ニ於キマシテ、國民ノ熱烈ナ忠誠ニ依リマシテ、自發的協力ニ懇ヘマスルコトハ勿論デゴザイマス、併ナガラ之ヲ法制ト致シマシテモ、聊カモ無駄ノナイヤウニ御奉公ノ出來ルヤウニ致シマス爲ニ本法ヲ制定スル」即チ茲ニ只今ハ此重大ナル國家存亡ノ岐ル、秋デアル、故ニ本法ヲ制定スルト言ハレテ居リマス、後ニハ「今日ノ時局ニ於キマシテ、將來長期ノ作戰ヲ遂行スルニ當リ國際的關係上如何ナル重大事態ガ發生スルカモ測ラレマセヌノデ、此際ニ於テ此總動員ノ制定ヲ爲シ、之ニ對スル國民ノ認識諒解ヲ求メ、之ニ對スル計畫ヲ致スコトニ依リマシテ總テ初メテ圓滑ニ運用スルコトガ出來ルノデアリマス」ト言ッテ居リマス、先ニハ只今ガ國家存亡ノ岐ル、秋デアアルカラ此法律ヲ作ラナケレバナラナイ、後ニハ聽テ重大ナル時期ガ突發致スカラ此法律ヲ制定致スト言ッテ居リマス、果シテ其何レデアリマスルカ、是ハ本法ガ規定セラレマスレバ直チニ之ヲ適用シナケレバナラナイノガ、前段ノ御説明デアリマス、後段ハモット重大ナル時期ガ來ナケレバ發動シナイト言ハレタノデアリマス、其何レガ眞デアルカ、本法適用ノ時期ニ付テ御伺ヲ致シマス

私ノ御尋致シマシタコトハ、第一ニ外務

大臣ニ對シテ、國際情勢ニ付キ政府ノ見ル所ヲ明確ニシテ貰ヒタイ、「イデオロギー」ニ依ッテ本案ガ生レテ來タモノデハナイカ、而シテ今ノ内閣ハ「イデオロギー」ニ依ッテ生レテ來タノデハナイトシテモ、將來之ヲ惡用セラレルノ虞ハナイカ、官制、機構ノ改革ヲ先決問題ト考ヘルガ、之ニ付テノ御考ハドウカ、是ハ近衛總理大臣ニ御伺スベキ事柄デアリマスルケレドモ、首席大臣ヨリ近衛總理大臣ニ代ッテノ答辯ヲ要求致シマス、司法大臣ニ對シテハ、三十一條ハ有名無實ナルガ、有名無實トハナラナイノデアルカ、又三十一條ハ本法發布後ニ於テモ適用ノ餘地ガアルノデアルカ、其適用スベキ所ハドウ云フ所ニ殘サレテ居ルノカ其ノ説明ヲ求メマス、法律ト勅令トノ界限ニ付テ、又樞密院ノ權限ニ依ルニアラザレバ審議不可能デアアル、陸軍大臣ノ所謂何モカモ軍機ノ機密ダト云ッテ、國民ノ耳目ヲ蔽ハントシテ居ル本案ニ對シテハ、樞密院ニアラザレバ之ヲ明ニ致スコトハ出來ナイト考ヘルガ、何故ニ樞密院ニ掛ケルコトヲ忌避セラレテ、斯様ナ手續ヲ執ラレタカ、之ヲ司法大臣ニ御伺シマス、大藏大臣、商工大臣ニハ、今日ノアナタ方ノ部下ノ能力ヲ以テ、今進行シツ、アル統制經濟ニ對シ對處スルコトハ勿論、之ヲ強化シ、尙ホ管理ニマデ進メントスル國家總動員ニ對シテ、何等ノ差支ナシト言明シ得ルカドウカ、商工大臣、大藏大臣ガ國家ノ爲ニ圓滑ニ統制經濟ノ進行ヲ圖リ、國家總動員ノ進行ヲ圖ル上ニ於

於

テ、何等ノ缺陷ナシト考ヘルナラバ、無シト御言明ガ願ヒタイ、尙ホ機構ノ合併ナリ、統一ナリヲ急務トスルト云フコトヲ御考ニナッテ居ルナラバ、其點ヲ明ニシテ貫ヒタイ、陸海軍大臣ニハ今申シテ徵用ニ關スル問題、適用ノ時期ニ關スル問題、同時ニ此第九號ニ依ッテ風呂敷ノ中ニ包マレテ藏ッテ居ラレルモノノ其内容ヲ、出來ルダケ茲ニ明ニセラレタイ、是等ガ私ノ質問ノ大要デアリマス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス（拍手）

（國務大臣廣田弘毅君登壇）

○國務大臣（廣田弘毅君） 只今深澤君ヨリ現在ノ我國ノ國際の時局ニ關シテ御質問相成ッテアリマス、言フ迄モナク、目下我國ハ我國ニ反抗スル支那ノ政權、軍隊ト戰國ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ其情勢ノ結局スル所ハ、持久戰ノ態度ヲ以テ當ラザルヲ得ナイ事態ニ相成ッテ居ルノデアリマス、此重大時局ニ際シマシテ、日本ノ國際情勢ニ對シマシテハ、十分ナル注意ヲ拂ッテ參ラナケレバナリマセス、此時局ニ關聯シテ、歐米諸外國トノ關係ニ於テ、非常ナ微妙ナル働キガアルコトハ事實デアリマス

先ヅ深澤君カラ「ソ」聯邦ノコトニ言及サレタノデアリマスガ、「ソ」聯邦トノ關係ニ付キマシテハ、先頃外交ニ關スル演説ヲ致シマシテ際ニモ述ベマシタ如ク、兩國ノ關係ハ非常ニ懸案續出ノ狀態アルノデアリマス、隨テ「ソ」聯邦ノ我國ニ對スル態度ヲ

改メサセテ、兩國ノ關係ヲ正常ナル狀態ニ置クコトニ努力致シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ今日ニ至ルマデ幾多未決ノ懸案ガ續出シテ居ルト云フ狀態デ、非常ニ注意スベキ事態デアアルノデアリマス、併ナガラ前申シマス通りニ、日本トシテハ決シテ「ソ」聯邦トノ間ニ事ヲ構ヘルガ如キ考ハナイノデアリマスノデ、「ソ」聯邦ニシテ我方ノ眞意ヲ諒解致シマスレバ、自然其態度ヲ改メザルヲ得ザルモノト私ハ信ジテ居ルノデアリマス

英吉利トノ關係ニ付キマシテハ、支那事件發生以來英吉利國民中ニハ、相當日本ニ對シテ不利益ナ運動ヲ致シテ者ガアルノデアリマス、又最近ノ事情ヲ見マシテモ、我國ニ對スル「ボーイコット」ノ計畫ヲ、英吉利ノ或ル團體ガ中心ニナリマシテ、歐米——歐羅巴諸國ノ者ヲ誘ッテ大會ヲ開イテ、我方ニ不利益ナル決議ヲ致シタヤウナ事態モアルノデアリマス、斯ル場合ニ其總會ノ——サウ云フ大會ノ跡ノ模様ヲ見マスト、列席スル者ハ多數青年デアッテ、歸リ掛ニハ共產黨ノ革命歌ヲ歌ヒ始メタト云フコトデ、其司會者ノ如キハ非常ニ驚イテ、是ガ制止ニ非常ニ困難ヲ極メタト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、今日各方面ニ於テ我國ニ對シテ不利益ナル行動ヲシテ居リマス運動ノ主要ナル部分ハ、所謂人民戰線運動デアルト私ハ見テ居ルノデアリマス、隨テ是等ニ對スル態度ト致シマシテハ、十分ニ其世界ニ於ケルソレ等ノ運動ノ動キヲ警戒シテ參ラナケ

レバナラスト思フノデアリマス、英吉利政府ト我國トノ關係ニ付キマシテハ、事件當初ヨリ相當英吉利政府ト致シマシテハ、我國ノ態度ヲ諒解シテ居ッタト思フノデアリマス、此後ニ於キマシテハ、一層私ハ其傾向ガ増加シテ參ルト云フ信念ヲ持ッテ居ルノデアリマス

亞米利加トノ關係ニ於キマシテハ、色々ノ民間ニ於ケル我國ニ對スル不理解ノ事態ハアルノデアリマスガ、是以テ米國政府ノ公明ナル態度ニ依リ、民論ノ激發ガ自然抑ヘラレテ居ルコトヲ、私ハ承知致シテ居ルノデアリマス

英米等ノ關係ニ於キマシテ、我國トシテハ、モウ一ツ海軍ノ軍縮問題ト云フ大キナ問題ガアルノデアリマス、此問題ニ付キマシテハ、我國ト致シマシテハ、先年倫敦會議ニ於テ華盛頓條約ヲ破棄致シマシタ以來、確乎不動ノ國策ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ其國策ト云フモノハ、御承知ノ通り所謂不脅威不侵略ノ原則ニ基イテ、決シテ諸外國ニ向ッテ不當ナル軍備競争ヲスルヤウナ考デナク、眞ニ公平ナル基礎ノ下ニ、國際間ノ軍備競争ヲ止メルコトヲ希望致シテ居ルノデアリマス、斯ル事態デアリマスノデ、現在我國ノ諸外國ニ對スル關係ハ甚ダ微妙ナモノガアリマシテ、十分注意シテ參ラナケレバナラヌ事態ニアルト思フノデアリマス、殊ニ支那ニ於ケル情勢ハ、尙ホ中々容易ナラザルモノガアルト思フノデアリマス、隨テ此際ニ處スベキ途ト致シマシ

テハ、將來如何ナル事件ガ續發致シマシテモ、之ニ對應スルダケノ方法ニ付テ、有ユル人智ヲ盡シテ之ニ處スル準備ヲシテ參リ、此覺悟ヲ示スコトニ依ッテ、我國ノ際ヲ窺フ所ノ國ヲシテ、其鋒先ヲ示シ得ザル準備ヲ爲シテ參ルコトガ、必要デアルト存ジテ居ルノデアリマス（拍手）

（國務大臣杉山元君登壇）

○國務大臣（杉山元君） 只今深澤君カラ二點ノ御尋ガアッタノデアリマス、第一點ノ國民ノ徵用ト云フコトニ付テハ、國家總動員業務ニ從事セシムル爲ニ徵用スルモノデアリマシテ、隨テ軍需工業動員ニ直接充用致シマスルノミナラス、間接ニハ原料、材料ノ充足等ノ爲ニ徵用スル場合モアリマスルシ、又事態ニ依リマシテハ、民需ノ充足ヲ致シマスル爲ニ徵用致シマスコトモアルノデアリマス（ソ）ンナ事ヲ聞イテ居ルノデハアリマセス、精神ヲ聞イテ居ルノデス「ト呼フ者アリ」隨テ此第四條ノ精神ハ、兵役ニ就イテ居リマスル者トハ全ク趣ヲ異ニシテ居リマス、即チ第四條ノ終リニ於キマシテ、兵役法ノ適用ニ付テハ之ヲ妨ゲストナツテ居ル點デ明カデアアルノデアリマス、即チ兵役ニ召集シマス者ハ、是ハ第一次デアッテ、召集ト徵用トハ全ク意義ヲ異ニシテ居ルノデアリマスカラ、此點ハ明ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、隨テ之ニ依ッテ軍人ニ影響ヲ及ボスト云フヤウナコトハアリマセス

第二點ノ國家存亡ノ時期如何ト云フコトニ付テノ御尋デアリマスルガ、現下ノ情勢

ガ國家存亡ノ時期デアルトハ考ヘテ居リマセヌ、即チ現在ハ現在ノ軍需工業動員法、其他ノ臨時立法ニ依リマシテ、作戰ヲ進ムルコトガ出來得ルト考ヘテ居ルデアリマスルガ、將來ニ於キマシテ、國際關係上重大ナル事變ガ勃發致シマスルヤウナ場合ヲ考ヘマシテ、國家總動員法ヲ速ニ制定シナケレバナラヌト云フコトヲ思フデアリマシテ、是ガ此事變ノ間ニ於テ發動致サナケレバナラヌカ、或ハ此事變ヲ發動シナクテ

ス、唯茲ニ御承知ヲ願ヒタイノハ、此動員ヲ準備致シマスル爲ニ必要ナル勅令ハ、出サナケレバナラヌ場合ガアルト思フデアリマス、是等ニ付テハ、モノニ依ッテハ一般ニ公表ヲ致サナケレバナラヌモノガアルカトモ思ヒマスルガ、大部分ニ於キマシテハ、軍機ノ秘密ヲ漏ス虞ノアルモノ、或ハ敵國ニ之ニ對スル判斷ヲ與ヘル如キ事柄ハ、軍トシテハ避ケタイノデアリマス(拍手)

(國務大臣鹽野季彦君登壇)

第三ハ、法律ト勅令トノ區別ヲ明ニセヨト云フ御尋デアリマスガ、茲ニ法律ト勅令トノ區別ハ説明スル迄モナイコトデアリマシテ、御趣意ハ此法律ガ規定致シテ居ル中ニ、勅令ニ讓ル點ガ非常ニ多イデハナイカ、而シテ其内容ガ甚ダ廣イノデハナイカト云フ點ノ御疑問デアラウト存ジマスルガ、此點ニ付テモ先刻來再三御説明ヲ申上ゲマシタ通りデアリマス、之ヲ以テ御諒承ヲ願ヒマス

(國務大臣賀屋興宣君登壇)

ニ付キマシテモ、極メテ圓滿ナル運用ト云フコトニ付キマシテハ、非常ナル努力ヲ要スルノデアリマス、幸ヒ是等ノ經驗ヲ得マシテ、將來大戦役等ガ已ムヲ得ズ發生致シマシタ場合ニ付キマシテハ、十分ナル用意ヲ致シテ參リタイト思フデアリマス、是等ノ現在ノ臨時法及ビ此國家總動員法等ニ依リマシテ、國民經濟ノ統制ニ付キマスル民間ノ理解協力ニ關シマスル認識モ、亦高マツテ來ルト思フデアリマス、十分ナル用意ヲ以テ進ミタイト思ヒマス、又機構ニ付キマシテハ、國家總動員法ヲ發動致シマスルヤウナ場合ニ於キマシテハ、現在ノ機構ニ擴充ヲ加ヘ、又新ニ機關ヲ設定スル等ノ必要ガアルト感ジテ居ルデアリマス

(國務大臣吉野信次君登壇)

(國務大臣吉野信次君登壇)

○國務大臣(吉野信次君) 私ニ對スル御尋ハ、統制經濟ノ運行ニ關スルコトデゴザイマシタガ、御話ノ通り國家ノ經濟的職能ガ、近來其範圍ニ於キマシテモ、分量ニ於キマシテモ、非常ニ多クナツテ參リマシテ、商工省ニ關スル限り、只今大藏大臣カラモ御話ガアリマシタ通りニ、現在從事シテ居ル官吏ノヤリ方ヲ以テ十分ハ考ヘテ居リマセヌ、隨ヒマシテ之ヲヤルコトニ付キマシテ、成ベク民間ノ關係當業者ノ方々ノ話合デ以テ之ヲ決メタイ、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居リマスケレドモ、利害關係ガ非常ニ複雑デゴザイマシテ、民間ノ當業者間ノ自治的ノ統制ノミヲ以テハ完全ニハ參リマセヌノデ、ヤハリ公平ナル第三者ノ立場トシ

モ濟ム場合ガアルカモ分ラヌト思ヒマス、併ナガラ既ニ申上ゲマシタ如ク、國家總動員法ナルモノヲ能ク國民ニ諒解、認識セシメテ、之ニ關スル計畫準備ヲスルト云フコトガ必要デアルデアリマシテ、之ニ依ッテ大體ニ國家總動員ナルモノハ、如何ナル事柄ヲスルノデアルト云フ、輪郭ヲ知リマスルコトダケデモ、國民ニ相當ナ覺悟ヲ與ヘルノデアリマス(ノー)「國家總動員ノ輪郭ハ知ッテ居マス」ト呼フ者アリ尙ホ司法大臣ニ御尋ニナリマシタ事項ハ、私ガ答辯致シマシタ事項ニ關聯致シテ居リマスルカラ、御答致シマスルガ、此大輪郭ヲ知ラシメルコトニ依リマシテ、國民ノ覺悟ヲ促シ、又準備スベキモノ、計畫スベキモノハ計畫ヲ進メマシテ、サウシテ愈之ヲ實施スル際ニ、之ヲ圓滑ニ進メタイト云フコトヲ、政府トシテ考ヘルノデアリマシテ、其内容、即チ此法律ノ中ニ之ヲ明記セザルコト、或ハ勅令ヲ直グニ明ニセザルコトニ付キマシテハ、既ニ申上ゲタ通りデアリマ

○國務大臣(鹽野季彦君) 私ニ御尋ニナリマシタル第一點ハ、本法ガ成立シタ曉ニ於テハ、憲法第三十一條ノ大權ハ、ドウ云フ風ニ發動スルノデアルカ、發動スル餘地ガアルノデアルカ、アルトスレバ、其餘地ハドンナモノデアルカト云フ御尋デアッタト思ヒマス、此點ニ付テハ先程モ御答ヲ申シマシタ通り(大聲ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ(本法ガ成立致シマシテモ、三十一條ノ非常大權ハ發動スルコトニ何等妨ゲガナイノデアリマス、其時ノ必要ニ應ジテ、大權ハ色々發動サル、コトト考ヘテ居ルノデアリマス(例ヘバ……)ソレナラ其儘ニシテ置ケ「法律ヲ作ル必要ハナイデヤナイカ」ト呼フ者アリ

第二點ハ、樞密院ニ御諮詢ヲ奏請スル要ガナイカドウカト云フノデアリマスルガ、是ハ樞密院官制ノ定ムル所ニ依リマシテ手續ヲ執ッテ居ル次第デアリマス、官制ニ於キマシテハ、其必要ガナキモノト解釋セラル、ノデアリマス

第三ハ、法律ト勅令トノ區別ヲ明ニセヨト云フ御尋デアリマスガ、茲ニ法律ト勅令トノ區別ハ説明スル迄モナイコトデアリマシテ、御趣意ハ此法律ガ規定致シテ居ル中ニ、勅令ニ讓ル點ガ非常ニ多イデハナイカ、而シテ其内容ガ甚ダ廣イノデハナイカト云フ點ノ御疑問デアラウト存ジマスルガ、此點ニ付テモ先刻來再三御説明ヲ申上ゲマシタ通りデアリマス、之ヲ以テ御諒承ヲ願ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 深澤君ノ御尋デアリマスル、國家總動員法ヲ發動スル場合ニ於ケル經濟統制ハ、甚ダ困難デアルガ、其統制ヲ爲スニ十分ナル用意ガ、官吏ノ能力トシテ出來テ居ルカドウカト云フ意味ノ御尋ト、其場合ニ於ケル行政機構如何ト云フ點ニ付キマシテ、私トシテ關係スル所ヲ御答申上ゲタイト思ヒマス、國家總動員法ヲ發動スルコトヲ要スルガ如キ大戦役ノ場合ニ於キマシテ、軍ノ需要ヲ遺憾ナク満足セシメ、併セテ國民經濟ノ維持ヲ圖リマスルコトハ、仰セノ如ク非常ナル難事業デアリマス、殊ニ經濟統制ノコトハ、微ニ互リ細ヲ穿チ、而モ相互關聯ガ甚ダ複雑ナルモノデアリマシテ、現在ノ官吏ノ能力ニ於テ、是ガ圓滿ニ施行シ得ルト云フコトハ申上ゲラレマセヌ、之ニ付キマシテハ十分ナル用意ガ要ルノデアリマス、只今支那事變ニ於キマシテ、或ハ資金調整法、又爲替管理法等ノ運用ヲ致シテ居リマスルガ、是等

第三ハ、法律ト勅令トノ區別ヲ明ニセヨト云フ御尋デアリマスガ、茲ニ法律ト勅令トノ區別ハ説明スル迄モナイコトデアリマシテ、御趣意ハ此法律ガ規定致シテ居ル中ニ、勅令ニ讓ル點ガ非常ニ多イデハナイカ、而シテ其内容ガ甚ダ廣イノデハナイカト云フ點ノ御疑問デアラウト存ジマスルガ、此點ニ付テモ先刻來再三御説明ヲ申上ゲマシタ通りデアリマス、之ヲ以テ御諒承ヲ願ヒマス

○國務大臣(賀屋興宣君) 深澤君ノ御尋デアリマスル、國家總動員法ヲ發動スル場合ニ於ケル經濟統制ハ、甚ダ困難デアルガ、其統制ヲ爲スニ十分ナル用意ガ、官吏ノ能力トシテ出來テ居ルカドウカト云フ意味ノ御尋ト、其場合ニ於ケル行政機構如何ト云フ點ニ付キマシテ、私トシテ關係スル所ヲ御答申上ゲタイト思ヒマス、國家總動員法ヲ發動スルコトヲ要スルガ如キ大戦役ノ場合ニ於キマシテ、軍ノ需要ヲ遺憾ナク満足セシメ、併セテ國民經濟ノ維持ヲ圖リマスルコトハ、仰セノ如ク非常ナル難事業デアリマス、殊ニ經濟統制ノコトハ、微ニ互リ細ヲ穿チ、而モ相互關聯ガ甚ダ複雑ナルモノデアリマシテ、現在ノ官吏ノ能力ニ於テ、是ガ圓滿ニ施行シ得ルト云フコトハ申上ゲラレマセヌ、之ニ付キマシテハ十分ナル用意ガ要ルノデアリマス、只今支那事變ニ於キマシテ、或ハ資金調整法、又爲替管理法等ノ運用ヲ致シテ居リマスルガ、是等

ニ付キマシテモ、極メテ圓滿ナル運用ト云フコトニ付キマシテハ、非常ナル努力ヲ要スルノデアリマス、幸ヒ是等ノ經驗ヲ得マシテ、將來大戦役等ガ已ムヲ得ズ發生致シマシタ場合ニ付キマシテハ、十分ナル用意ヲ致シテ參リタイト思フデアリマス、是等ノ現在ノ臨時法及ビ此國家總動員法等ニ依リマシテ、國民經濟ノ統制ニ付キマスル民間ノ理解協力ニ關シマスル認識モ、亦高マツテ來ルト思フデアリマス、十分ナル用意ヲ以テ進ミタイト思ヒマス、又機構ニ付キマシテハ、國家總動員法ヲ發動致シマスルヤウナ場合ニ於キマシテハ、現在ノ機構ニ擴充ヲ加ヘ、又新ニ機關ヲ設定スル等ノ必要ガアルト感ジテ居ルデアリマス

テ、國家ノ官吏ガ之ニ介入スルコトモ、已ムヲ得ナイト存ジテ居リマス、獨逸ノ御話ガゴザイマシタガ、實ハ統制經濟ヲ本格的ニヤルニハ、御話ノ通り獨逸ニ於ケル例ノ如ク、一年カラ二年其人ヲ準備シテカラヤルノガ本當カト存ジマス、唯現在ノ情勢カラ申シマス、其餘裕ガナイノデアリマス、併ナガラ吾々ト致シマシテ、専門ノ知識ナリ、經驗ナリヲ成ベク吸收スル、斯ウ云フ方針ノ下ニ、色々制度ヲ樹テテ居リマスコトハ、御承知ノ通りデアリマスガ、尙ホ商工省關係ノ官吏ノ任用ノ資格トシテ、民間ノソレトノ専門ノ人ヲ御願スルト云フコトモ、私ハ非常ニ適切デアルト考ヘテ居リマスガ、是ハ文官任用ノ一般ノ問題デゴザイマスルカラ、文官任用制度ノ全般ノ問題トシテ、併セテ考究ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

〔政府委員瀧正雄君登壇〕

○政府委員(瀧正雄君) 第二條ノ九號ノ御尋ニ付テ、私カラ御答ヲ申上ゲマス、第九號ハ殆ド只今豫想シテ居リマセヌ、唯萬一ノ場合ヲ考ヘマシテ、何カ遺漏ガアリハセヌカト云フ用意ノ下ニ規定シテアルノデ、強ヒテ之ヲ想像致シマスレバ、思ヒ付クトハナイデモアリマセヌガ、殆ド萬一ノ規定デアルト御諒承ヲ願ヒマス、サウシマス、只今御話ノ中ニアツタヤウニ、ソレデハ皆軍需品デハナイカ、一號カラ八號マデハ軍需品デハナイカ、斯ウ云フ御疑問ガ起ルダラウト思フノデアリマス、其ノ通りデゴ

ザイマス、併シ此軍需品ガ半面ニ於テ民需品デアル所ニ、國家總動員法ノ大事ナ意味ガ含マレテ居リマス、折角ノ御質問デアリマスルカラ、一言其處ダケヲ補足シテ置キマスガ、若シ軍需工業……(折角トハナシタ)ト呼ビ其他發言スル者アリ)若シ國家總動員法ガ制定サレナイデ、サウシテ或ハ國力戰デアルト謂ハレルヤウナ戰爭ニ入ツタ場合ニドウナルカ、是ガナカッタナラバ、大變ナ不便ガ起ツテ來ルト云フコトヲ、御考ヲ願ヒタイと思ヒマス、ソレハ軍需工業動員法ノ外ニ、只今アリマスル所ノ臨時立法ハ、其時ニハ消エテ無クナツテ居リマス、軍需工業動員法ダケガ殘ツテ居ルトシマスルト、只今御質問ノヤウナ軍需品ニ付テハ、軍需工業動員法ノ適用ガアリマシテ、軍需用ノ物ダケハ取去ラレテシマフノデアリマス、僅カバカリノ物ガ民需ノ爲ニ殘サレマス、其僅カバカリノ存在量ノ爲ニ、若シ之ヲ自由ニ放任シテ置キマシタナラバ、國民生活ハ非常ナ不安ニ陥リマス、何故カト申シマスルト、國民ノ需要量ハ大變多イノデス、國民ノ需要量ガ大變多イ時ニ、存在量ガ極ク僅ニ殘サレマスルカラ、ソコデドウシテモ生産ノ増加ト云フコトヲ考ヘナクテハナリマセヌ、又輸入ヲ計畫シナケレバナリマセヌ、ソレノミナラズ生産ノ増加ヲ圖ツテモ、輸入ノ計畫ヲ立テマシテモ、尙且ツ國民ノ所要量ニ満たナイ場合ニハ、不急不要ナル消費ノ節約ヲモ考ヘナクテハナリマセヌ、是等ノコ

トガ能ク行ハレル爲ニハ、軍需品ノ統制ノミデナクシテ、民需品ニ付テモ統制ガ必要トナツテ參リマスノデ、茲ニ國家總動員法案ノ成立ヲ必要トスル所以デゴザイマス(拍手)

〔深澤豐太郎君登壇〕

○深澤豐太郎君 私ハ外務大臣ノ御説明ヲ承ツテ、現在ノ日本ノ國情ノ進ミツ、アル經路ガ、段々險惡ナル方面ニ進ミツ、アルト云フ感ヲ受取ルコトガ出來ナカッタノデアリマス、外務大臣ハ良イ方面バカリヲ説明ニナラレタノカモ知レマセヌ、サウデナクトモ稍、切迫セル情勢ガ幾分緩和サレツ、アルノガ今日ノ情勢デハナイカト思ハレル、外務大臣ハ公開ノ席デ言ハレナイコトモアツタノカト思ハレマスカラ、何レ秘密會等デ聽クコトガ出來レバ御伺ヲ致シマスルガ、現在吾々ノ受取ツタ感シハ、幾分國際關係ハ改善セラレツ、アルト受取ラザルヲ得ナイ御説明ガアツタカト思フノデアリマス、總動員法制定ノ必要ニ對スル説明トシテハ、却テ反對ノ説明デハナカッタカト思ハレルノデアリマス、陸軍大臣ノ御説明ニ依レバ、勅令ニ依ツテ定ムルモノモアルト云フノデア

ル、本法ハ一切ヲ勅令ノ規定ニ委任ヲシテ居リマス、陸軍大臣ハ公表セザル勅令デモ想像セラレテ居ルノデアリマセウカ、私共ハ勅令ノ效力モ官報ニ依ツテ公表セラレナケレバ效力ハナイモノト思フガ、官報ニ依ツテ國民ニ知ラシメズシテ、效力ヲ有セシムル勅令デモ御持チニナツテ居ルノデアリマセウカ、是ハ陸軍大臣ノ説明ヲ聽ケバ、勅令ニ依ツテ規定シテ國民ニ知ラシメテハ惡イ點モアルト云フコト、ソレヲ勅令ニ委任シテ置イテ如何ナル法式ニ依ツテ法律の效力ヲ發揮セシメントスルカ、此點甚ダ不思議デアリマス、恐ラク陸軍大臣ノ頭ノ中ニハ、此勅令ニ於テモ、亦何等カノ方法デ其權限ヲ他ノモノニ委譲シヨウトスル考デモアルノデヤナイカ、吾々ハ勅令ヲ以テ規定シテスラモ憲法違反デアルト思フテ居ル、ソレヲ勅令ガ又勅令ニ於テ何々ニ委任ヲスル、而シテソレハ又委任ヲシテ、遂ニ一切公表セラレズニ終ルト云フヤウナ方法デモ御考ニナツテ居ルノデハナイカ、此點明ニ出來ルモノナラバ御説明ヲ求メルノデアリマス

ソレカラ大藏大臣ト商工大臣ニ付テデアリマスガ、是ハ私ノ所說ニ對シマシテ其必要ヲ御認メニナツタ、其必要ヲ御認メニナツタト云フコトハ、國家總動員法ガ危急ノ場合直チニ發布セラレテモ、商工省、大藏省ハ之ニ應ズルノ能力ナシト云フコトナノデア

鱗ガ現レテ居リマスルカ、吾々ハ行政機構ノ改革ニ致シマシテモ、官吏ノ任用ニ致シマシテモ、或ハ又商工大臣ノ言ハル、文官任用令ヲ改正シテ、民間ノ人材ヲ官界ニ吸收スルニ致シマシテモ、何レモ是レ豫算ヲ伴ハナケレバナラナイト思フ、然ルニ此人件費、行政改革ニ關スル豫算ハ、何等總動員法案ト附隨シテ要求セラレテ居ナイ、然ラバ議會カラ議會マデノ間ニ總動員法案ガ發令セラレテモ、兩省ハ之ニ對シテ

シタ、之ニ對シテ商工大臣カラ御答ガアツクガ、更ニ近衛總理大臣ニ代ッテ廣田國務大臣カラ答辯ヲ得ラレコトガ出來ルカドウカ、近衛總理大臣デナケレバ出來ナイノデアリナラバ、總理大臣ノ出席ヲ待ッテ答辯ヲ得マスルガ、若シ首席國務大臣トシテ答辯ガ出來マスルモノナラバ、此席ニ於テ答辯ヲ要求ヲ致ス者デアリマス、以上私ノ質問ニ對シテ御答ヲ御願致シマス

(國務大臣杉山元君登壇)

ノ準備ガナイト云フコトニナリマス、商工大臣ハ民間ノ人材ヲ吸收スルノ必要ガアルト思フ、文官任用令改正ノ必要ガアルト思フト言ハレル、是ガ一屬僚ノ答辯デアリマスルナラバソレモ宜シイガ、國務大臣ノ重責ニ在ル者ガ、國家ノ爲ニ、而シテ國家ノ存亡ノ場合ノ法律ニ對シテ、其必要アリト致シマシタナラバ、國家存亡ノ場合ニ處スル準備トシテハ、一刻モ之ヲ等閑ニ放任スルコトハ出來ナイ筈ノモノデハナイカト思フ、商工大臣ガ本案ヲ提案スルコトニ贊成ヲセラレテモ、尙ホ自ラ之ヲ國務大臣トシテ政府ノ決定ヲ促シテ居ラナイト致シマシタナラバ、曠職ノ謗ヲ免レマセヌ、曠職ノ責ヲ攻撃スルノデハナイ、現在ノ統制經濟ニ於テ既ニ其必要ガアル、一段強化スル國家總動員來ツタ場合ニ於テハ、モウ猶豫ヲ致シテ居ルコトハ出來ナイ、今期議會ニ對シテ其虞アリトシタナラバ、是等ノ經費ヲ要求スルノ考ガアルカ、内閣ノ決意ヲ促ス考ガアルカ、此點ヲ私ハ首席國務大臣ニ御伺

○國務大臣(杉山元君) 御答致シマス、只今深澤君ノ想像セラレタヤウナ考ハ持ッテ居リマセヌ、即チ戰時ニナリマシタナラバ勅令デ示シマスコトハ勿論デアリマス、又サウシナケレバナラヌト考ヘテ居リマスルガ、平時ニ於キマシテ豫メ之ヲ示シマスコトハ、國防ノ秘密ヲ事前ニ外國ニ示スコトニナリマシテ、極メテ戒メナケレバナラヌコトデアアルノデアリマス、但シ此總動員ヲ實施シマスル爲ニ必要ナル準備事項ハ、平時ヨリヤラナケレバナラヌコトデアリマシテ、此點ハ既ニ申上ゲタヤウニ、必要ナ際ニ之ヲ勅令トシテ發布スルコトニナリ、隨テ國民ニモ之ヲ承知セシメルコトニナル譯デアリマス

○國務大臣(廣田弘毅君) 總理大臣ニ御質問ノ事項ニ付キマシテハ、更ニ的確ナコトハ適當ノ時期ニ御答辯ニ相成ルヤウニ致シタイト思ヒマスガ、最後ニ御尋ニナリマシタ點ニ付キマシテ、此案ノ施行ニ必要ナル費用ハ、或ハ今議會ニ出スコトニ相成ルドラウト思ヒマス、尙ホ此案ノ内容ノ發動ノ場合ノ費用ハ、是ハ其必要ノ生ジタ時ニ出スコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

(國務大臣廣田弘毅君登壇)

○淺沼稻次郎君 深澤君、宜シウゴザイマスカ 淺沼稻次郎君

○淺沼稻次郎君 私ハ只今議題ニナッテ居リマスル國家總動員法案ニ關シ、社會大衆黨ヲ代表致シマシテ、率直ニ私共ノ態度ヲ表明スルト共ニ、重要ナ點四點ニ付テ、政府ニ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、既ニ先輩諸氏カラソレレ、質問ガアツクノデアリマシテ、重複ヲ避ケテ端的ニ私ハ申上ゲタイト思ヒマス

本法案ハ今議會提出ノ議案中、最も重要ナル法案デアリマス、即チ本法案ヲ議會ガ認メルコトハ、戰時事變ニ關シ、廣大ナル權限ヲ政府ニ委任スル結果ニナルノデアリマス、又政府ノ方カラ考ヘテ見マスルナラバ、一朝有事ノ際ニ、議會ニ對シテ政府ガ白紙委任狀ヲ求メテ居ルヤウナモノデアリマス、即チ此點ヲ考ヘテ見マスルナラバ、本議案ノ持ツ意義ト云フモノハ、私ハ實ニ重大ナリト考ヘルノデアリマス(拍手)然ルニ昨日モ本日モ、總理大臣ノ御出席ハアリマセヌ、甚ダ私ハ遺憾ニ考ヘルノデアリマス(拍手)此點ハ吾々ノ先輩幾多ガ議會ノ權限ニ付テ論セラレマシタ、議會人トシテハ私當然ナリト考ヘルノデアリマス、中ニハ總理大臣病ナルガ故ニ已ムヲ得ナイト言フ

人ガアリマス、私ハ皇軍將兵諸士ガ國家ノ目的達成ノ爲ニ、自分ノ體ヲ一個ノ肉彈トシテ戰ッテ居ルコトヲ思ヘバ、總理大臣ハ少シ位熱ガアツテモ、病ヲ冒シテ此壇ニ現レテ、本法案ノ重要性ニ鑑ミ、死シテ後止ムノ決心デ、必要ノ理由ヲ強調スベキナリト私ハ考ヘザルヲ得マセヌ(拍手)私ハ甚ダ此點ニ付テハ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、尙ホ又政府當局者ノ議會政治ニ關スル重要ナル議案ノ質問ニ對シテ、不誠意ニシテ熱意ヲ缺ク態度ハ、甚ダ私ハ遺憾至極ニ考ヘルノデアリマス(拍手)少クトモ私ハ此問題コソハ、實ニ我が日本ノ將來ヲ決定ヲ致シマスル重大ナル問題デアリマスルガ故ニ、議會モ眞劍ニナリ、政府當局モ眞劍ニ此問題ヲ論ズルノガ、政府當局ノ執ルベキ態度デナケレバナラヌト、私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)

諸君、戰時並ニ事變ニ對シテ國家ノ國民ニ求メル所ハ大デアリマス、臣民ノ權利自由ニ對スル憲法ノ保障ガ、大權ノ施行ヲ妨ゲザルコトハ勿論、臣民ノ權利自由其モノモ法律ノ範圍内ニ於テ享有スルノデアリマスカラ、國家ガ國防目的達成ノ爲ニ、國ノ全力ヲ最も有效ニ發揮セシメル爲ニ、人的物的資源ヲ統制運用スベク本法案ヲ制定セントスル趣旨ハ、吾々ニモ諒承ガ出來ルノデアリマス、而モ最近ノ戰爭ハ生産力ト生産力トノ爭デアリ、國力ト國力ノ爭デアル、戰爭トハ國家全體ト國家全體トガブツカルノガ戰爭デアリマス、支那事變ガ長期戰ニ

入り、第二段階ニ入ッタ今日ニ於テ、而モ次ニ來ルモノヲ吾々考ヘテ見マスルナラバ、國家ガ人的ニ物的ニ國家總動員ニ備ヘルコトハ、當然ト私ハ考ヘルノデアリマス、併ナガラ如何ナル機構ニ於テ、何人ガ之ヲ運用スルカト云フコトガ、吾々ニ取ッテ最も重大ナル問題ト思フノデアリマス、即チ國家總動員法案ハ、第一ニ國民經濟、竝ニ國民ノ生活、殆ド有ユル分野ニ互ル廣汎ナル事項ヲ對象ト致シマシテ、必要ニ應ジテ敏速且ツ有效ナル發動ヲ爲シ得ルコトヲ規定シテ居ルノデアリマシテ、之ヲ立前トシテ居ルノデアリマスルガ、然ラバ之ヲ運用スル上ニ於テ、行政機構モ之ニ對應シテ組織竝ニ運用ヲ整備シナケレバナリマセス、現在ノ固定化シ、老朽化シタル行政機構及ビ官吏機構ヲ以テシテハ、到底此重任ニ堪ヘルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、此點ニ付テ政府ハ如何様ナ御考ヲ持ッテ居ルカ、質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、是ガ質問ノ第一點デアリマス

若シ夫レ現在ノ政治機構其儘デ、現在ノ官僚諸公ニ依ッテ運用サレンカ、果シテ圓滿ヲ期セラレマセウカ、私ハ茲ニ重大ナル疑問ヲ持ッノデアリマス、國民ハ官僚諸公ニ依ッテ、是ノ運用サレルコトニ危險ヲ感ジテ居ルノデアリマス、本議會ヲ通ジテ本會議ノ席上ニ於キマシテモ、各種法案委員會ニ於キマシテモ、亦貴族院ニ於キマシテモ、官僚ノ獨善ニ對スル非難ガ行ハレマシタ、中ニハ黨利黨略ニ對シテ官利官略アリ

ト云フコトサヘ言ハレテ居ルノデアリマス、官僚獨善排撃ノ聲ハ、或ル意味カラ申シマスルナラバ、舉國の輿論デアルト言ッテ、私ハ決シテ過言デナイト思フノデアリマス、此點ニ總理大臣以下各閣僚ハ考慮スル所ガナケレバナリマセス、若シ本法ノ運用ニ於テ官僚獨善ニ陥ランカ、國內ニ於ケル相剋摩擦ヲ激成スルコトニ依ッテ、本法ノ求ムル結果トハ反對ノ結果ヲ招來スルト思フノデアリマス(拍手)而モ官吏ノ制度ト云フモノハ固定化シ、老朽化シテ、而モ現在ニ於キマシテハ、此官吏ノ制度其モノヲ變ヘナケレバナリマセス、併シ考ヘテ見マスルナラバ、制度ガ固定シテ居ルト云フコトモ、吾々ハ考ヘナケレバナリナイノデアリマス、ソレデ私ハ政府ニ對シマシテ、今本法ヲ提出シタ其前提トシテ、少クトモ是ト竝行ヲ致シマシテ、文官任用令ノ改正ニ付ニ身分保障制度ニ關シマスル所ノ改正ニ付テ、具體案ガアリマシタナラバ御説明ヲ願ヒタイト、私共ハ思フノデアリマス(拍手)

モウ一ツハ政府ノ説明ニ依リマスルナラバ、本法ノ主管ハ内閣デアッテ、ソレノ内容ニ依ッテ各省ガ分割ラシテ之ヲ行フト言ッテ居ルノデアリマス、若シ然リト致シマスナラバ本法ノ運用ハ國務大臣連帶ノ責任デアルカ、或ハ國務大臣ガ各省所管事項ニ付テ、ソレノ責任ヲ負フノデアルカ、或ハ總理大臣ガ一元の運用ト云フ意味ニ於テ、總理大臣ガ總括の責任ヲ負フノデアルカ、此點ヲ明ニシテ戴キタイト思フノデア

リマス

更ニ私ハ數本ノ非常立法ヲ本總動員法一本ニ統一シタコトガ、戰時事變ニ際シテ各省分立主義ヲ排シテ、總理大臣ノ權限ヲ強化シタモノト私共ハ考ヘ得ラレルノデアリマス、現在ノ如キ内閣制度ニ依レバ、各省大臣ハ皆閣議ニ列席ヲ致シマスル國務大臣デハアリマスルガ、動モスレバ各省割據ノ弊ガアルノデアリマス、ソレノ省ノ長官ト致シマシテノ態度ハ明白デアリマスルケレドモ、國務大臣ト云フ立場ニ立ッテ發言致シマス、私共ハ聊カ考ヘサセラレル點ガアルノデアリマス、即チ此制度其モノヲ改革シナケレバナラスト私ハ思ヒマス、即チ内閣ニ於テハ本法運用ノ前提トシテ、内閣制度ヲ改革スルコトヲ御考ニナッテ居ラナイカ、モウ一ツハ若シ本法ヲ運用致シマスルナラバ、事務ノ連絡統一ノ爲ニ部局ノ整理ヲヤラナケレバナリマセス、省ノ廢合モヤラナケレバナリマセス、又地方行政ヲ現在ノ如キモノニシテ置イテ、之ニ協力ヲ求メルト云フノモ中々困難ナ事情ニ置カレテ居ルト思ヒマスノデ、地方行政ノ改革モ行ハレナケレバナリマセス、ソコデ内閣制度以下中央地方ヲ貫ク行政改革ヲヤル意思ガアルカドウカ御伺ラシタイノデアリマス(拍手)

更ニ觀點ヲ變ヘマシテ考ヘテ見マスルナラバ、我國ノ政治ノ動向ハ、二大政黨對立ノ時代カラ、五・一五事件以來、舉國一致ノ能勢ヲ以テ日本ノ政治ハ運用サルレヤウニナッテ參リマシタ、而モ二・二六事件、支那事變ヲ經テ、舉國一致ノ能勢ハ強化サレルノ傾向ニアリマス、而モ國家統制ハ強化サレルノ傾向ニアルノデアリマス、私ハ是ハ必然デアッテ、國家ト民族ガ一大飛躍ヲ試ミル時、國家ノ統制ガ強化シテ參ルコトハ當然ナリト私ハ思フノデアリマス、併ナガラ其統制ハ一部官僚ノ獨善デアッテハナリマセス、飽マデモ國民ノ總意ヲ基礎トシナケレバナラスト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)今ヤ我國ハ世界新秩序創建ノ爲ニ、亞細亞再建ノ爲ニ、曠古ノ大業ヲ決行シツ、アルノデアリマス、是ガ爲ニハ國內ノ各種各般ニ互ッテノ改革ガ必要デアルト思ヒマス(拍手)即チ政治的ニハ國內ニ於テ舉國一致達成ノ爲ニ有ル機關ノ改革デアリマス、即チ此觀點カラ見マシテモ、内閣制度、中央地方ヲ貫ク行政機構ノ改革、更ニ議會制度ノ改革ガ必要ナリト思フノデアリマス(拍手)尙ホ且ツ經濟的ニハ營利生産組織カラ公益ヲ中心トスル、即チ國家ヲ中心ト致シマスル生産組織ニ變ヘル必要ガアルト思フノデアリマス、總理大臣ハソレノ機械ニ於テ改革ノ必要ヲ叫バレテ居リマス、改革ノ爲ニハ摩擦ニ亦已ムヲ得ナイト言ッテ居ルノデアリマス、ソコデ此改革ニ付テハ如何様ナ御考ヲ持ッテ居ルカ、此觀點カラモ伺ヒタイノデアリマス、尙且ツ陸海軍大臣ハ支那事變ノ經驗ヨリ致シマシテ、ソレゾレ軍器、彈藥、飛行機、是等ノモノニ付テ改善スベキモノガアルト云フ御考ヲ御

持チテラウト思フノデアリマス、加ヘテ國カト國カトノ戰デアリマス今日ニ於テハ、陸海軍大臣ハソレノ國ノ政治ニ對スル御考ガナケレバナラス答デアルト思フノデアリマス、此點ニ付テ如何様ナル考ヘ方ヲ持ッテ居ルカ、私ハ御伺シタイト思ヒマス、加ヘテ陸軍大臣ヨリハ、昨日牧野君ノ演說ノ際ニ本法案ニ對スル態度ヲ伺ッタノデアリマスガ、此際海軍大臣カラモ本案ニ對スル態度ナリ考ヘ方ヲ御伺シタイト私ハ思フノデアリマス

次ニ國家總動員ノ運用ハ政府ハ國民ノ舉國一致ヲ求メル、舉國一致ヲ求メルト云フコトヲ基礎ト致シマシテ、本案提案ノ理由ニシテ居ルノデアリマスガ、然ラバ本案ノ中ニ如何様ナル形ニ於テ、如何様ナル形式ニ於テ是ガ含マレテ居ルカト云フコトヲ、私ハ一應御伺致シタイト思フノデアリマス、是ガ即チ質問ノ第二點デアリマス、即チ舉國ノ協力、之ヲ實現スル爲ニハ先ヅ第一ニ政府ハ國民ノ代表デアリマス議會ニ協力ヲ求メナケレバナラス答デアルト私ハ思フノデアリマス(ソコダト呼フ者アリ)即チ國家總動員ノ最モヨリ良キ形ト云フモノハ、軍部、政府、國民代表タル議會ト三位一體トナッテ、十分此連絡ノ下ニ此非常時局ヲ乗り切ルコトガ、最モ望マシキ次第ナリト私ハ言ハザルヲ得ナイノデアリマス、然ルニ本案ハ澤山ノ勅令委任事項ヲ含ンデ居リ、法律案トシテ議會ガ審議シ得ルモノハ、内容極メテ小サナモノデアリマス、大

マカナ輪郭ダケニシカ過ぎマセス、政府ハ此委任事項ノ内容ヲ出來得ル限り議會ニ提示スル御考ヲ持ッテ居ルカドウカ、私ハ之ヲ御伺シタイノデアリマス

ソレカラモウツハ議會ノ意向ト云フモノヲ參酌スル御考ガアルカドウカ、之ヲ承リタイト思ッテ居リマス、是ガ爲ニハ現在議院法第二十五條ニ依リマスルナラバ、繼續委員會ヲ設置スルコトガ出來ルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、政府ハ斯ノ如キ重要法案ハ繼續委員會ヲ設置シテ、之ニ付議スルノ御考ハナイカ、私ハ此點ヲ御伺シタイノデアリマス(拍手)更ニ考ヘテ見マスルナラバ、議院法ヲ改革致シマシテ、常置委員會ノ制度ヲ設ケマシテ、是デ議會ト協力ヲ求メルト云フ態度モ出來ル答デアリマスガ、常置委員會ノ設置ニ對シテ政府ハ如何様ナ御考ヲ持ッテ居ルカ、此點モ御伺ヲシタイト思ヒマス、又常置委員會ノ設置ガ困難デアリマスルナラバ、少クトモ形式ニ拘泥シナイデ、各黨代表ト政府ノ懇談會ト云ツタヤウナモノニ依ッテ、其運用ノ圓滿ヲ期スル御考ハナイカ、是モ御伺ヲシタイノデアリマス(拍手)

更ニハ此際舉國一致達成ノ爲ニ議會制度ノ根本ニ觸レテ改革ヲ爲ス御考ハナイカ(拍手)即チ選舉法ノ大改正ヲ行ヒマシテ、大選舉區比例代表制ト云ツタヤウナ制度ニ依ッテ、議會ノ構成ソレ自體カラヤル御考ハナイカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス、又貴族院令ヲ改正ヲ致シマシテ、斯ウ

云フ際ニ貴族院ノ華族ノ持ッテ居リマスル特權ヲ幾分抑ヘテ、サウシテ職能代表ト云ツタヤウナ、勞働者、農民其他產業團體ノ代表ヲ加フベキデハナカラウカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ意見ヲ私御伺シタイト思ヒマス

ソレカラ本法運用ニ關シテデアリマスガ、之ニ付キマシテハソレノ運用審議會ガ出來ルサウデアリマスガ、是ハ單ナル諮問機關デアリマスルガ、之ニモット執行機關ノ性質ヲ負ハセル御考ハナイカ、又本案ニ統一ヲシテシマヒマルト云フト、今度ハ今迄アリマシタ資金調整委員會トカ、或ハ關稅委員會ト云ツタヤウナ、民間ノ「エキスパ」ト「入レター」ツノ委員會ガ無クナッテシマフト云フ結果ニナルノデアリマスガ、政府ハ統制事項別ニ委員會ヲ設ケテ、而モ民間ノ有力ナル者ヲ入レテ、之ヲ運用スル御考ハナイカト云フコトヲ私ハ御伺ヲシタイノデアリマス、此際ハ特ニ職能代表ヲ私共ハ加ヘル必要ガアルト思ヒマス

更ニ舉國一致達成ニ付テ申上ゲタイコトハ、是ハ內務大臣ニモ關聯ガアルノデアリマスルガ、私ハ舉國ノ協力ハ國民ガ政府ニ對シテ自目的追縱デアッテハナラスト思ヒマス、建設的言論ハ之ヲ尊重シナケレバナリマセス、此意味ニ於キマシテ、言論統制ハ最モ慎重ヲ期サナケレバナラスト思フノデアリマス、之ニハ本案ノ提出ニ當リマシテ、集會及ビ多數運動ニ關スル事項ヲ削除シタコトハ結構トハ思フノデアリマスガ、

併ナガラ私共ハデス、國民ノ發展ト、飛躍日本ガ目指ス所ハ、一體何處ニアルカト云フコトヲ國民ニ知ラシメテ、サウシテ爲政者ノ意思ノ働ク所ニ國民ガ協力スルト云フ立前ヲ採ラナケレバナリマセス、軍機上ノ祕密ハ是レ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、外交上ノ問題ニ付テハ總テノモノヲ國民ノ前ニ發表シテ、國民ト共ニ外交ヲ行フト云ツタヤウナ、所謂言論尊重ノ態度ヲ以テ國民外交ヲ樹立シナケレバナラスト考ヘルノデアリマスルガ、此點ニ付テハ如何様ナ御考デアルカ、殊ニ最近破壊的言論ガ多イノデアリマス、私ハ多クハ申上ゲマセスガ、或ル演說會場ノ如キハ、吾々ノ黨首安部磯雄先生ニ對シテ、殺セトハ申シマセスガ、生カシテ置イタイカスト云ツタヤウナコトヲ言ッテ演說ヲシテモ、ソレヲ取締ラスト云フヤウナ傾向ガアルト思フノデアリマス、中止ヲ食ハサナイ、大衆黨ノ演說會ヘ行ッテ暴力ヲ以テ壊セト指令ヲシタリ、又サウ云フ演說ヲヤッテモ、官憲ハ之ニ對シテ彈壓ヲ加ヘテ居ラナイノデアリマス、即チ私ハ斯ノ如キ破壊的言論ハ之ヲ彈壓シ、建設的言論ト云フモノハ、尊重シナケレバナラスト考ヘルノデアリマス(拍手)此點ニ付テ內務大臣ノ御意見ヲ御伺シタイト思ヒマス

更ニ本法制定ノ理由書ニ依リマスルナラバ、是ハ昨日モ陸軍大臣ノ答辯ノ中ニ入ッテ居ッタノデアリマスガ、斯ウ云フコトガ謳ハレテ居ルノデアリマス、即チ軍需工業動員法ニ缺ケテ居タ國民生活ノ保障ヲ、確保

スルモノデアルト云フコトガ力説サレテ居ルノデアリマス、此案ニ取リマシテハ、是非常ニ重大デアラウト思フノデアリマス、然ラバ此國民生活ノ保障ト云フ句ハ、一體何處ニ、ドウ云フ箇條ノ中ニ具體化サレテ居ルノカ、私ハ之ヲ御伺シタイノデアリマス、労働統制ニ關スル規定ハ、此趣旨ニ於テ運用サレノカ、若シ然リトスルナラバ労働賃銀、労働時間並ニ雇傭關係ニ付テ、如何ナル具體的方針ヲ以テ統制セントスルカ、之ヲ御伺シタイト思ヒマス、ソレカラ價格統制ニ關スル規定ガ、果シテ此國民生活ヲ保障スルト云フ趣旨ニ於テ、運用サレノデアアルカ、之ヲ承リタイノデアリマス、物價騰貴ノ抑制ニ付テ具體的政策ヲ持ッテ居リマスナラバ、此際御示ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、特ニ生活必需品ノ價格ニ付テハ、統制方針ハ如何様ナモノヲ持ッテ居ルカ、是モ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、又本法案ノ中ニハ補償ノ規定ガアリマス、此補償ノ規定ハ本法ノ運用ニ依ッテ、直接生ジタ損失ニ對シテ之ヲ補償スルコトニナッテ居ルノデアリマスガ、間接ニ生ジタモノニ對シテハ何等ノ規定ガアリマセス、併ナガラ政府ハ戰時的統制ガ農業、商業並ニ其他ノ平和産業ニ及ボス影響ハ、既ニ御諒承ノ答デアルト私ハ思フノデアリマス、國民生活保障ノ爲ニト云フコトナラバ、今カラ失業保險、養老年金等ノ社會立法ヲ作リ、又稅制ノ改革ヲ行ッテ負擔ノ輕減ヲ圖ル等、國民生活ニ對シテ此法ノ運用ト云フモ

ノガ、何等害ヲ與ヘナイ準備ガ必要デラウト思フノデアリマスガ、此準備ニ付テ御伺シタイト思フノデアリマス、又理由書ノ中ニハ、國民生活ノ保障ト云フコトガ書イテアルノデアリマスガ、條文ノ何處ニモ是ハ見當ラナイ、ソレデ一體政府ハ、本當ノ國民生活ノ保障ヲヤルト云フ考ガアリマスナラバ、規定ノ何處カニ國民生活ノ保障ト云フコトヲ御入レニナル意思ハナイカドウカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス

以上ガ大體私ノ政府ニ御伺シタイト思フ點デアリマスガ、最後ニ一點申上ゲタイト思ヒマス、國家總動員法ヲ有效且ツ適切ニ運用シ得ル爲ニモ、又戰爭ノ目的達成ノ爲ニモ、之ニ對應シテ國內改革ガ必要デアルコトハ、先程申上ゲタ通りデアリマスガ、此點ハ過日ノ豫算討論ノ場合ニ於キマシテ、同僚三輪壽壯氏、清瀬一郎氏カラモ強く主張サレタ點デアリマス、是ハ國家ト民族ガ一大飛躍ヲ試ミル場合ニ於テハ、國內ノ改革ハ、必然的ニ要求サレテ來ルモノデアルト思フノデアリマス、然ルニ或ル一部ニ於テ現狀維持の議論ニ依ッテ、此民族ト國家ガ一大飛躍ヲ試ミントスル場合ニ於テ、後口髪ヲ引クガ如キ行動ヲ爲ス者アルコトハ、私共ノ甚ダ遺憾ト爲ス所デアリマス、少クトモ政府ハ此場合ニ於テ、戰爭ノ目的達成ノ爲ニ、モウ一ツハ國內改革斷行ノ爲ニ、如何ナル決意ヲ持ッテ居ラレカ、此點ニ付テハ近衛總理大臣ハ相剋摩擦モ辭セナイト言ハレル、是ハ言フノハ易イノデアリマス、

口デハ誰デモ言ヘル、併シ本當ニヤリ切ルト云フコトハ、竝大抵ノコトデハアリマセヌ、果シテ此壇上ニ於テ、或ハ豫算總會ニ於テ、或ハ其他ノ委員會ニ於テ政府ガ言明シタコトハ、本當ニ國家全體ノ爲、民族、國家ガ飛躍スル爲ニヤルト云フ堅イ決意ヲ持ッテ居ルカドウカ、私ハ篤ト此點ヲ御伺シタイト考ヘルノデアリマス、以上申上ゲマシテ私ノ質問ヲ終リマス、答辯ニ依リマシテハ、モウ一遍御尋致シマス

〔國務大臣廣田弘毅君登壇〕

〔國務大臣杉山元君登壇〕

○國務大臣(廣田弘毅君) 只今淺沼君ヨリ各般ノ事ニ付テ御質問ニ相成ッタノデアリマス、特ニ事外交ニ關シマスルコトヲ私ヨリ御答致シマシテ、其他ハ適宜關係大臣又ハ政府委員ヨリ、御説明申上ゲタイト思ヒマス、我國現下ノ狀態ハ非常ナ躍進ヲ遂ゲツ、アル次第デアリマシテ、其爲ニ國際的ニ各般ノ所謂摩擦相剋ヲ起シツ、アル點モ、認メラル、ノデアリマス、現ニ今同ノ支那事變ニ對スル我が國民ノ動キハ、實ニ我が躍進日本ノ姿ヲ其儘現ハシテ居ルノデアリマシテ、斯ノ如キ國民外交ハ實ニ其例ヲ見ナカッタト申シテモ宜イト思フノデアリマス、將來ニ於キマシテモ斯ル舉國一致ノ態勢ヲ以テ、日本ノ進ムベキ途ニ邁進シテ參リタイト存ズルノデアリマス

用及ビ色々ノ臨時立法ニ依リマシテ、一應其措置ヲ講ジツ、アルノデアリマスガ、國家總動員各般ノ事項ニ互リマシテ、所謂國家總動員ヲ實施スル爲ニ、適切ナル根據法規ヲ定ムルト云フコトハ、夙ニ吾々ノ熱望シテ居ッタ所デアリマス、即チ今回ノ法案成立ニ依リマシテ、豫メ周到ナル準備ヲ致シ、サウシテ戰時ノ必要ニ對スル萬全ノ措置ヲ講ズルコトニ依ッテ、初メテ目的ヲ達スルコトガ出來ルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○國務大臣(米內光政君) 國家總動員法ニ對スル海軍ノ態度ヲ申上ゲマス、現下支那事變ニ於キマシテハ、軍需工業動員法ノ適

次ニ昨日申上ゲマシタ國家總動員ノ目的ノ一ツトシテ、國民生活ノ確保ト云フコトヲ申シマシタノデアリマスガ、之ニ付テ淺沼君カラ御尋ガアッタノデアリマスガ、本法ニ依リマシテ各種ノ統制ヲ致シマシテ、國民生活ヲ確保セントスルモノデアリマス、即チ此法ヲ實行スルコトニ依ッテ、或者ハ

重キ義務ヲ課セラレル者ガアルカモ分リマセヌ、又一方ニ於テハ緩和ヲサレナケレバナラヌコトガアルカモ分ラヌト存ズルノデアリマスルガ、是ハ尙ホ十分ニ研究ヲ致シテ見ナケレバ、具體的ニ申上ゲルコトハ出来ナイト存ジマス(拍手)

〔國務大臣賀屋興宣君登壇〕

○國務大臣(賀屋興宣君) 國家總動員法發動ノ場合ニ於ケル國民生活ノ保障ニ付キマシテノ御尋ノ中、税法ノ關係デアリマスルガ、是ハ只今ノ事變ニ因ル經濟關係、國民負擔關係ノ落著キヲ見マシテ、早イ機會ニ稅制ノ根本改革ヲ致ス決心デアリマス、第二ノ損失補償ノ問題デアリマスルガ、御尋ノ如ク直接ノ損失ヲ補償スルノ規定ハアリマスルガ、間接ノ損失ニ至リマシテハ、是ハ國民生活ノ維持ノ上カラ、其時々ノ狀況ニ依リマシテ、臨時ノ税法或ハ豫算ヲ用ヒテ爲スベキ筋合ノモノデアリマス、隨テ本法案ニハ其規定ガナイ次第デアリマス

〔國務大臣吉野信次君登壇〕

○國務大臣(吉野信次君) 價格統制ノコトニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、勿論此法律ハ國民生活ノ保障ノ爲ニ價格統制ヲヤル積リデゴザイマス

〔國務大臣末次信正君登壇〕

○國務大臣(末次信正君) 御答致シマス、建設的言論ハ尊重スルカト云フ御質問デアリマシタ、建設的言論ハ固ヨリ尊重致シタインデアリマスガ、破壊ハ建設ナリトモ申シマシテ、建設ノ名ニ於テ破壊ヲ行フ者ガ

ナイトモ限ラナイノデアリマス(拍手)ソレ故ニ抽象的ニ唯建設的デアレバ宜イト云フ譯ニハ參ラヌノデアリマシテ、建設的デアラウト、破壊的デアラウト、公安ヲ害スルモノハ一樣ニ取締ルノデアリマス(拍手)

〔淺沼稻次郎君登壇〕

○淺沼稻次郎君 簡單ニ再質問ヲシタイト思フノデアリマスガ、ドウモ私が御問致シマシタ一番根本ハ、何人ガ如何ナル機構ニ於テ之ヲ運用スルカ、此事ガ一番重大ナノデアリマスルガ、其返答ヲ致シマスル總理大臣ガ居ラヌコトヲ、私ハ非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマス、是ハ議會全體トシテノ問題デアラウト私共思フノデアリマス、假ニ此問題ガハッキリシテ來レバ、或ハ議會ノ中ニモ成程ト云ツタヤウナ感じヲ持ツ人ハナキニシモアラズト私ハ考ヘルノデアリマスガ、併シ此點ハ總理大臣ガ居ラヌノデアリマシテ、私ハ適當ナ機會ニ質疑ニ對スル答辯ヲ戴キタイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ他ノ大臣ノ答辯ニ致シマシテモ、私先程質問ヲ致シマスル冒頭ニ於テ申上ゲテ置キマシタ通り、要スルニ政府ガ國民ニ對シテ白紙委任狀ヲ求メル、國民ノ方ハ政府ニ對シテ廣汎ナル權限ヲ與ヘヨウト云フ重大ナル法案ニ對シテ、答辯ガ私ハ非常ニ不親切過ギルト思フノデアリマス、本當ニ私共眞劍ナル氣持ヲ以テ答辯ヲシテ戴キタイト考ヘルノデアリマスガ、是モ已ムヲ得ナイコトデリマシテ、是レ以上申上ゲマセヌ

唯最後ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマスルコトハ、陸海軍兩大臣ニ私ノ御問ヲ致シマシタノハ、支那事變ノ經驗ニ基イテ、軍機上、兵器、彈藥、飛行機、是等ノコトニ付テハソレレ、改革ノ必要ガアラウト思フ、而モ戰爭目的ノ達成ノ爲ニ、尙且ツ國力ト國力ノ爭デアルト云フ、現代ノ戰爭ノ場合ニ於キマシテハ、陸海軍トシテ此政治ノ場面ニ於テ、如何ナル機構ヲ以テ運用サレルカト云フコトニ付テモ、事變ノ經驗カラ致シマシテ考ガアル答デアルト、私ハ斯ウ考ヘマシテ御問ヲシタノデアリマス、併シ是レ以上答辯ヲ求メルコトモ困難ナ事情ニアルト思ヒマスルカラシテ、答辯ハ要リマセヌ、以上ヲ以テ私ノ再質問ト致シマス

○服部崎市君 是ニテ質疑ハ終局セラレンコトヲ望ミマス

〔反對「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

○議長(小山松壽君) 起立多數

〔異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 議長ノ宣告ニ對シ異議アリトコトデアリマスガ、此場合異議申立ニハ衆議院規則第三百三十條ニ依リ三十人以上ノ贊成ヲ要シマス、異議申立ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

○議長(小山松壽君) 定數ノ贊成アリト認メマス(拍手)仍テ記名投票ヲ以テ採決致シ

マス、是ヨリ記名投票ヲ行ヒマス、服部君ノ質疑終局ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票ヲ持參セラレンコトヲ望ミマス——閉鎖——尙ホ念ノ爲ニ申上ゲマス、第七十回議會、昭和十二年三月二十七日ノ會議ニ於テ、議長ヨリ宣告致シマシタ通り、表決投票ノ場合ハ氏名點呼ヲ行ハナイコトニ決メマシタカラ、議席第一番ヨリ順次投票セラレンコトヲ望ミマス

〔各員投票〕

○議長(小山松壽君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハナシト認メマス——投票函閉鎖——開匣——開鎖

〔書記官投票ノ數ヲ計算ス〕

○議長(小山松壽君) 投票ノ結果ヲ書記官ヨリ報告致サセマス

〔田口書記官朗讀〕

投票總數 二百八十五

可トスル者 白票 二百三十八

否トスル者 青票 四十七

〔拍手起ル〕

〔參照〕

服部崎市君提出質疑終局ノ動議ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ

伊藤東一郎君 伊藤 五郎君

今成留之助君 池田 清秋君

池本甚四郎君 服部 崎市君

服部 英明君 原 玉重君

濱野徹太郎君 坂東幸太郎君

西田 郁平君 西村金三郎君

堀内 良平君 本田彌市郎君

遠山 房吉君	豐田 豐吉君	福田 悌夫君	藤田 若水君	岡田 忠彦君	小笠原八十美君	佐保 畢雄君	崎山 嗣朝君
小川郷太郎君	小野 寅吉君	小泉 純也君	小畑虎之助君	小笠原三九郎君	小高長三郎君	木村 正義君	宮脇 長吉君
大野 一造君	大島 寅吉君	小林房之助君	小林 三郎君	小野 廉君	若宮 貞夫君	宮崎 一君	鹽川 正藏君
岡野 龍一君	岡本實太郎君	小柳 牧衛君	小山 谷藏君	加藤 知正君	加藤久米四郎君	志賀和多利君	庄 晋太郎君
渡邊玉三郎君	加藤 鯛一君	駒井 重次君	木槍三四郎君	川崎巳之太郎君	菅野善右衛門君	島田 俊雄君	肥田 琢司君
川副 隆君	川崎 克君	寺島 權藏君	手代木隆吉君	金澤 正雄君	依光 好秋君	樋口善右衛門君	森 幸太郎君
川崎末五郎君	勝 正憲君	愛野時一郎君	齋藤 直橋君	横川 重次君	吉植 庄亮君	森 榮藏君	盛島 明長君
勝田 永吉君	高橋壽太郎君	佐藤謙之輔君	作田高太郎君	高島龜太郎君	高見 之通君	世耕 弘一君	砂田 重政君
高田 耘平君	高木条太郎君	櫻内 幸雄君	木原 七郎君	立川 平君	田中 亮一君	鈴木 英雄君	伊禮 肇君
田中 武雄君	田中 万逸君	喜多壯一郎君	菊池 良一君	田中 源君	田中 三郎君	伊豆 富人君	井阪 豐光君
田村 秀吉君	多田 滿長君	宮澤 胤勇君	斯波 貞吉君	田中 好君	田子 一民君	石坂 繁君	春名 成章君
依 孫一君	添田敬一郎君	篠原 陸朗君	清水留三郎君	田尻 生五君	瀧澤 七郎君	林 路一君	豐田 牧君
津原 武君	津倉 龜作君	一松 定吉君	平川松太郎君	曾和 義式君	坪山 德彌君	陣 軍吉君	金井 正夫君
土屋清三郎君	塚本 三君	平野 光雄君	比佐 昌平君	土倉 宗明君	中田 儀直君	曾木 重貴君	中野 寅吉君
内藤 正剛君	内藤 守正君	森下 國雄君	最上 政三君	中野 治介君	馬岡 次郎君	窪井 義道君	山崎達之輔君
成島 勇君	中村 梅吉君	栗山 博君	百瀬 渡君	植原悦二郎君	上田 孝吉君	山崎 常吉君	藤本 捨助君
中村不二男君	中村三之丞君	末松偕一郎君	鈴木憲太郎君	野口 喜一君	工藤十三雄君	青木 精一君	清瀬 一郎君
中野 邦一君	仲西 三良君	伊東 岩男君	一ノ瀬俊民君	倉成庄八郎君	倉元 要一君	北勝太郎君	岸田 正記君
仲井開宗一君	長井 源君	岩元榮次郎君	岩瀬 亮君	熊谷 直太君	山川賴三郎君	平野 力三君	守屋 榮夫君
長野 高一君	長野 綱良君	板野 友造君	板谷 順助君	山本 芳治君	八角 三郎君	井上 良次君	西尾 末廣君
村瀬 武男君	内ヶ崎作三郎君	泉 國三郎君	井上 知治君	前田 米藏君	松岡 俊三君	富吉 榮二君	岡崎 憲君
卯尾田毅太郎君	宇賀 四郎君	生田 和平君	今井 健彦君	松川 昌藏君	松村 光三君	加藤 鏐造君	川村保太郎君
野村 嘉六君	工藤 鐵男君	羽田武嗣郎君	葉梨新五郎君	松尾 孝之君	牧野 良三君	川俣 清音君	河合 義一君
矢野庄太郎君	山田 六郎君	原 惣兵衛君	原口初太郎君	増永 元也君	藤井 浩然君	片山 哲君	米窪 滿亮君
山本 厚三君	山本 桑吉君	林 讓治君	濱地 文平君	深澤豐太郎君	小林 絹治君	田原 春次君	塚本 重藏君
前田房之助君	松井 郡治君	濱田 國松君	箸本 大吉君	小平 重吉君	小谷 節夫君	中村 高一君	永江 一夫君
松尾 四郎君	松田竹千代君	西岡竹次郎君	西川 貞一君	小見山七十五郎君	河野 一郎君	野溝 勝君	山崎 銀二君
松田喜三郎君	松永 東君	西村 茂生君	星 一君	紅露 昭君	江原 三郎君	前川 正一君	松永 義雄君
松本 忠雄君	眞鍋 勝君	星島 二郎君	東郷 實君	江羅直三郎君	寺田 市正君	松本治一郎君	河野 密君
眞鍋 儀十君	牧山 耕藏君	東條 貞君	大内竹之助君	青山 憲三君	綾部健太郎君	安部 磯雄君	阿部 茂夫君
古田喜三太君	古島 義英君	大口 喜六君	太田 理一君	芦田 均君	安藤 正純君		

否トスル議員ノ氏名左ノ如シ

麻生 久君 淺沼稻次郎君
佐竹 晴記君 三輪 壽壯君
三宅 正一君 水谷長三郎君
須永 好君 杉山元治郎君
鈴木 文治君 今井 新造君
道家齊一郎君 中原 謹司君
小山 亮君 三木 武夫君
馬場 元治君 大石 大君
小野 謙一君 渡邊 泰邦君
田中 養達君 青木 作雄君
木村 武雄君 由谷 義治君
三田村武夫君 三浦 虎雄君
杉浦 武雄君

午後五時四十一分散會

○議長(小山松壽君) 右ノ結果服部君提出ノ動議ハ可決セラレマシタ、仍テ質疑ハ終局スルニ決シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ議長指名四十五名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市君 殘餘ノ日程ハ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、